

文化庁 平成 19 年度 委嘱事業
「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発
報告書

平成 20 年 3 月 31 日

社会福祉法人 駒ヶ根市社会福祉協議会

目次

一. まえがき	3
二. 事業計画	3
三. 事業の結果.....	6
(1) 外国人、ボランティア対象のアンケートの実施	6
外国人向けアンケート対象者	6
アンケート結果所感	6
アンケート結果の考察.....	8
アンケート結果の総合.....	10
(2) 日本語教室活動の推移・学習者の傾向	11
(3) アンケート結果を生かした教室運営の改善、カリキュラムの作成	13
学習者に必要な二本の柱とは	13
二本の柱①：日本語教室の役割…各教室の特色	13
二本の柱②：日本語の実践の場としての地域とつながる活動.....	14
(4) 改善結果と課題.....	15
日本語教室.....	15
地域とつながる活動	16
二本の柱を支えるもの.....	17
四. 今後取り組む具体的な計画	18
(1) 日本語教室	18
(2) 地域とつながる活動.....	20
(3) カリキュラムを充実するために.....	21
五. 社会福祉協議会の役割.....	21
(1) 生活者としての外国人の抱える悩み事の相談窓口	21
(2) サポート体制の組織化	22
(3) 運営、企画への支援.....	22
(4) 行政、企業、NPOやボランティア団体等との連携.....	23
(5) 生活支援.....	24
(6) 人と人をつなぐ.....	24
(7) まとめ.....	24
付録.....	25

一. まえがき

日本に長く住みながら、毎日の生活や仕事に追われ、あるいは情報がなくて、日本語の学習の機会が得られないまま、耳から覚えた片言の日本語だけで暮らしている外国人、帰国者は、この長野県上伊那地域には大勢いる。

しかし、子供が学校に行くようになったり、仕事先で責任のある仕事につくようになったりすると、自分の日本語が通用しない事に気づき、悩むようになる。

こうした現状に対して、駒ヶ根市社会福祉協議会では、それぞれの生活スタイルに合った日本語学習ができるよう、いろいろな形できめ細かい日本語教室を企画運営する必要が出てきた。

また、一住民として、地域で暮らす外国人の様々な生活課題に対応するために、社会福祉協議会が日本語教室の設置・運営をする意味は大きい。単に言葉の習得支援にとどまらず、安心して暮らすことができるよう、生活全般への支援を視野に入れた日本語教育における社会福祉協議会の役割についても調査研究する。

二. 事業計画

多様な文化背景、生活背景を持つ外国人の、駒ヶ根での生活スタイルに合った日本語学習ができる日本語教室の運営形態、カリキュラムを作り上げることを目標に、以下のような手順で開発研究を進める。

【第一段階】

細かなニーズを探り、把握するためにアンケートを実施する。アンケートは各国語（日本語、英語、ポルトガル語、中国語）版を作成し、対象は既存の地球人ネットワーク in こまがねが主催する日本語教室（以下、日本語教室）に参加する学習者や、市内の小・中・高等学校に通う外国人児童・生徒の家族とし、できるかぎり「生活者としての外国人」像を探る。

また、現在地球人ネットワーク in こまがねのメンバーとして活動しているボランティアにもアンケートを行い、意識調査を行う。（添付のアンケート本体、集計結果参照。）

【第二段階】

アンケート結果を集計分析して、地域に住む外国人が本当に必要としている情報や日本語とはどのようなものかを探る一方、ボランティア育成講座を実施し、日本語教室の新たな担い手となる人材を育成し、教える上での知識や技術の向上を目指す。

【第三段階】

アンケートの結果を見て、日本語教室ができること、社会福祉協議会ができることをそれぞれ検討し、日本語教室の運営方針を確立して、それに沿って教室運営を行っていく。方向としては、各曜日の日本語教室ごとに特色を持たせるようにする。どう特色をだしていくかは、日本語教室ボランティアミーティングで出た案とボランティア向けアンケートで出た意見を合わせて、実践の中で考察する。

以上のような段階を踏んで日本語教室の運営形態、カリキュラムを作り上げてゆく。具体的なスケジュールは以下の通りである。

期間 平成19年10月 ~ 平成20年3月

申請時予定 ●——● 実施 ●- - -● 中間時新規項目 ●.....●

作業項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研究開発事項の把握・分掌	●——● ●- - -●					
アンケート作成	●——● ●- - -●			●——●		
外国人とその家族・ボランティアにアンケート調査		●——●	●- - -●	●——●		
アンケート収集・分析		●——●	●- - -●	●- - -●		
ボランティア育成勉強会の準備・開催	●——●	●——●	●——●	●——●	●——●	●——●
カリキュラムに取り入れる日本社会の習慣・学校行事・緊急時対策を選定まとめ（料理教室・意見発表会・市内施設見学）		●——●	●——●	●——●	●——●	●——●
選定した事項について教案を作成			●——●	●——●	●——●	
選定した事項についての教案をもとに模擬授業実施				●——●	●——●	●——●
教授項目と副教材の取り合わせを作る		●——●	●——●	●——●	●——●	●——●
ボランティアの模擬授業実施（養成講座 全5回開催1月~2月）		●——●	●——●	●——●	●——●	●——●
他地域の日本語教室視察/研修会・ワークショップ参加		●——●		●——●	●——●	
他団体と協力して行う教室やイベントの準備と実行			●.....●	●.....●	●.....●	●.....●
運営委員会開催	●——●	●——●	●——●	●——●	●——●	●——●
企画編集委員会	●——●	●——●	●——●	●——●	●——●	●——●
報告書作成					●——●	●——●

三. 事業の結果

(1) 外国人、ボランティア対象のアンケートの実施

教室の運営時間や形態を見直すためにボランティアと駒ヶ根市近郊に住む外国人の立場から意見を聞き、生活者としての外国人の実情を把握するアンケートを取った。アンケートでは、日本語教室について、そして日常生活で日本語がわからなくて困っていることについて質問した。（*アンケートの内容は別添資料参照）

外国人向けアンケート対象者

アンケートの実施日程と対象者は以下の通りである。

1. 平成 19 年 11 月下旬～12 月 2 日：日本語教室参加者と華和倶楽部（中国からの帰国者グループ）
2. 平成 19 年 12 月下旬～平成 20 年 1 月：駒ヶ根市内の小中高等学校に在籍する外国籍児童の保護者と近隣市町村のボランティア日本語教室の学習者

アンケート結果所感

以下は、アンケート結果から主だった点を取りあげ、企画編集委員会・日本語教室ボランティアミーティング・運営委員会から出された考察・コメントなどを表にまとめたものである（アンケート結果の詳細は別添資料参照）。

項目	1.日本語教室参加者・華和倶楽部	2.小中高等学校に在籍している外国人児童の保護者、その他
来日年数	3年以内に集中	5年以上が多い
今後の滞在予定年数	1-3年は研修生、永住は国際結婚か。この2種に集中している。研修生は全員3グループ（一番上級）で勉強。	10年以上・永住が多い。 子供を通わせている方は日本を定住地として考えているのか
職種	研修生・パート社員・専業主婦が多い	専業主婦や、研修生は少なく、正社員やパート社員が多い。 子育てが一段落して働きに出る傾向にあるのか。
母語以外に話せる言語	英語が多い。このうちの多数がフィリピン人。 日本語とあげる人も多い。習熟度は不明。	日本語をあげる人がやや多い。 住んでいる年数の長さとして「日本語が話せる」として挙げる人の多さ、そのわりにはいろいろな場面で困難に直面することが

		多い.....という裏腹な結果の表れかたに現実が出ているようだ。
曜日と時間	現在ある教室に出席している人に聞いたため、現在の時間（土曜日午前）の都合がいいという答えが多い。また、金曜の夜の都合がいいという答えも多い。	曜日としては土曜日がいいと答える人が多い。次に日曜日。 時間帯は午前中がいいと答える人が多い。夜の時間帯はどの曜日でも希望はあったが、多くない。
上級クラス	ほしいという答えが多い。 これについてボランティアから出た意見は以下のとおり。 ・グループ内でレベルの違いがある ・話せるが文法がきちんとしていない人は不満があるのでは ・母語で話してしまう ・レベルは合わないが、同国人といっしょにいたがる ・2グループ：土曜が主、火曜が補習という感じだったが崩れてきている ・1グループ：まったくゼロに近い人が来るとレベルが合わなくなる ・中国系のひらがなカタカナは陳さんにまかせたらどうか。	既存の教室に参加していないので、回答がばらついた。
日本語教室に期待すること	日本語文法が勉強できるという回答が一番多く、次いで、日本の生活事情や、普段聞けないことを聞くことができるという答えが多かった。 (普通の日本人と接することができる、国によって違う礼儀なども分かることが期待されているのでは？ 呼び方、挨拶など。)	左記に同じ
母語で説明を聞きたいか	外国人グループは「聞かなくていい」が多く、華和倶楽部の学習者は逆に「聞きたい」が多い。	意見が分かれた。 これは教室に参加していない方が、日本語教室に参加したときの不安要素を想像したためか？
日本語能力試	「試験を受けたい」が多く、「上級クラス	試験のことを知らないという答えも多く、

<p>験を受けたいか</p>	<p>が欲しい」という意見と合わせ、試験対策クラスも考えたほうがいいかもしれない。</p>	<p>いつか受けたいと思うという回答が多かった。</p>
<p>日本語ができなくて困ることは</p>	<p><家庭>「学校での行事など一般的なことを知りたい」が多い。</p>	<p>子供の学校に関する回答も多いが、<市役所>での「通知文を読む」、<職場>「上司や同僚と話す」、<家庭>「新聞や広告を読む」とき困るという回答が多いのが目立つ。</p> <p>そのほかには漢字が難しいとか、漢字がわかかったら、少しは日本の生活も楽になるかもしれないなど、漢字について触れている人が多かった。</p>

アンケート結果の考察

次に、アンケートの各項目について具体的に考察していく。

日本語教室の運営形態について以下の項目に着目した。

- ・ 時間帯・曜日
- ・ レベル分け
- ・ 教室形態
- ・ 教室に期待すること
- ・ 媒介語での説明について

教室の希望時間は、土曜日の午前中が最も多く、次に日曜日が多い。夜の時間帯への回答は金曜日に比較的多かった。これは、教室に来ている人へのアンケートなので当然の結果といえる。

教室形態については、グループレッスンという答えが多かった。マンツーマンレッスンを希望する者もいるが、今の段階ではそれに答えるだけの人員がいない。

教室に期待することは以下の順で回答が多かった。

- 1位 日本語文法を勉強する
- 2位 日本の文化や習慣について知ることが出来る
- 3位 普段聞けないことを聞くことが出来る
- 4位 同国人や地域住民と知り合いになれる
- 5位 同国人と情報交換が出来る

学習者像にも関連するが、教室に参加する外国人はなんとなく話せるが、文章を書くことや、適切な場面で適切な言葉遣いで話すということが出来ていないことを自覚している

ようだ。まず文法がきちんと勉強できる場所を必要とし、日本の礼儀や習慣が聞ける場所も欲していると捉えた。

しかし日本語学校があればそれでいいわけではない。なぜなら、駒ヶ根市近郊に住む外国人は日本語を勉強することが目的ではない。彼らは長期・短期は別としてこの地域に住み、仕事を持ち、日々忙しく生活している。彼らにとって日本語は仕事をするための道具であり、この地域に住み、馴染んでいくために必要不可欠なものと考え、学習者のニーズに柔軟に対応できる、地域に密着したボランティア日本語教室が必要されているのではないだろうか。

次に、「母語（媒介語）で説明を聞きたいか」という質問では意見が分かれる結果がでた。多国籍の学習者が参加する地球人ネットワーク主催の日本語教室では、説明は母語でなく日本語でいいという意見が多かったのに対し、中国からの帰国者が中心の華和倶楽部では帰国者が理解できる言語での説明を聞きたいという意見が多いという結果がでた。これは日本語教室に参加する学習者の背景や学習の動機などが深く影響していると考えられる。

また、駒ヶ根市内の小中高等学校に在籍している外国籍児童の保護者へのアンケート回答でも、意見が分かれた。日本語教室に参加したことがなく、雰囲気がかみにくかったからだろうか。

ボランティアにも学習者の母語、または分かる言語で説明が出来る外国人日本語指導者が求められているかどうか、委嘱事業Ⅲを進めるにあたり、疑問もあった。だが、日本語の知識がほとんどない学習者にとっては、教室形態の説明から授業まですべて日本語で行われるよりは、母語又は分かる言語で説明を聞けば、心理的負担も軽減できるだろう。そして外国人指導者が地域のボランティア教室で活動することによって、同国人から信頼を得て、日本語教室に参加する日本人と顔見知りとなることで、地域とのつながりを持つことにもなるだろうと考える。

現在、教室では 1 人の中国人がボランティアとして活躍している。また、上級の学習者が初級者に母語で文法の説明や教室の説明などをしてきているし、地域の情報や教室の説明（翻訳文は英語・中国語・ポルトガル語を用意はするが、参加する学習者すべての言語ではない）などに十分にその役割を果たしている。徐々に日本人が教えているだけの日本語教室ではなく、ボランティアと学習者とで行っている連帯感のある教室に変わってきているのではないだろうか。外国人指導者（ここでは 1 人の中国人ボランティアと上級学習者）はボランティアと学習者の双方にとって心強い存在である。課題はあるが、利点もたくさんあるであろう。

学習者自身については、以下のような質問をした。

- ・ 来日年数
- ・ 滞在予定年数

- ・ 職業
- ・ 母語
- ・ 母語以外にわかる言語
- ・ 日本語がわからなくて、日常生活で困っていること

(6分野 市役所／郵便局・銀行／職場／家庭／病院／地域 に分けて調査)

来日年数と滞在予定年数に関連して職業については日本語教室参加者、華和倶楽部、そして外国籍児童の保護者間でそれぞれ特色が出た。

まず、日本語教室参加者は来日年数が比較的浅く、滞在予定年数も 3 年程度の短期間という回答が多く、そのほとんどが企業の研修生である。また、滞在予定年数が永住の回答が多いことや、職業では主婦が多いことから国際結婚をした人も多く教室に参加していることが伺われる。

次に華和倶楽部は帰国者世帯、2世3世の世帯であるため永住予定がほとんどで、パート社員もしくは正社員が多い。

外国籍児童の保護者の回答は 5 年以上滞在していると回答した方が多かった。そしてほとんどが働きに出ているようで、こちらもパート社員・正社員が多かった。これは、子供が学校へ通うようになり、手がかかる子育て時期を終えたからではないかと推測している。

母語に関しては中国語・タガログ語・ポルトガル語が多く、その他はインドネシア語・英語・ベトナム語と続き、その他少数ではあるが多様な母語話者がいた。母語以外にわかる言語はという質問に対して、2位に英語を抑えて堂々の1位は日本語であった。質問ではどの程度話せるかという質問はしなかったもので、程度はここではわからない。

しかし、母語以外に話せる言語として日本語を挙げている一方で、日本語がわからなくて、市役所からの配布物を読むとき、新聞や広告から情報を得ようとするとき、職場で上司や同僚と話するとき、そして学校からの連絡物を読んだり書いたりするときなど、日常生活において困難に直面することが多いという裏腹な結果が見て取れた。

アンケート結果の総合

上記の所感、考察をまとめると以下のようなになる。

- ・ 教室形態については、グループレッスン希望が多い。
- ・ 日本語の学習が目的ではない「生活者としての外国人」のニーズに対応できる、「地域密着型のボランティア教室」が求められている。
- ・ 媒介語の必要性については、学習者の背景、意識、学習の動機によって考え方は異なる。媒介語は必ずしも求められているわけではない。
- ・ 同国人、同じ外国から嫁いだ女性などがボランティアとして存在していることは、学習者にとって励みにもなり、手助けにもなるなど、大きな意味がある。

- ・「日本語が話せる」という個人個人の意識の規準に大きな差があるようだ。
- ・「日本語が話せる」とは答えても、日常の生活では困難に直面している人が多い。

(2) 日本語教室活動の推移・学習者の傾向

アンケートに関連して、これまでの日本語教室の活動状況について、具体的な数字を示し、学習者の出席の傾向などについて述べておく。今後の教室運営の改善やカリキュラムの作成は今ある教室を基礎として行われるものであり、現状を改めて把握しておくためである。

これまでに日本語教室に参加した学習者の延べ人数は以下のとおりである。

* 平成 20 年 3 月 31 日現在

* 例：10(3)：左は延べ人数、()内は回数

* 注：5 月は開催回数が不明で延べ人数を火曜日に掲載

曜日	時間	平成 19 年								平成 20 年			合計
		5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
火曜	1:30p.m -3:30p.m	43()	10(3)	15(5)	26(3)	19(4)	11(4)	9(3)	6(2)	11(3)	15(3)	10(4)	175(34)
水曜	7:00p.m -8:30p.m	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36(2)	64(4)	100(6)
土曜	10:00a.m -11:30a.m	—	35(4)	22(2)	37(3)	40(5)	45(4)	49(3)	64(4)	42(3)	52(4)	91(5)	477(37)
合計		43()	45(7)	37(7)	63(6)	59(9)	56(8)	58(6)	70(6)	53(6)	103(9)	165(13)	752(77)

教室を開講してから約 11 ヶ月が過ぎ、この間に各グループの学習範囲をそれぞれ 2～3 回ほど繰り返した。そのグループの学習範囲を終えて、次のグループへ上がった学習者もいれば、繰り返し同じ範囲を学習している人もいる。

学習者の参加状況は、1～2 回参加して来なくなった者や、初級 1 から初級 2 に上がりしばらくすると来なくなる学習者がいるものの、新しい学習者が徐々に増え、参加延べ人数も増え、駒ヶ根市近郊に住む外国人に緩やかではあるが日本語教室の存在が知られつつあるように思う。

教室にしばらく参加していた学習者が来なくなる現象にはパターンがある。それは初級 2 で動詞文や形容詞文を習い、日常会話ができるようになってくると仕事を見つけ、働きに出るというものである。平日はもちろん、土曜日にも週によっては仕事があるため、自然と日本語教室には参加できなくなるようだ。日本語教室側としてはもう少し続けて学習してほしいと願う気持ちもあるが、学習者が自分の日本語に自信を持ち、仕事を探して働き始めることは、日本で社会の一員としての一步を歩み始めた前向きに取り、喜ばしいこととして受け止めている。また自動車の免許を取得したり、日本語能力検定 3 級に合格したりという形で効果があらわれたケースもある。

教室は開講以来、基礎文法を積み上げ式で学ぶグループレッスンの形態をとっている。そんな教室に毎回来たり、休みがちでも途絶えることのない「常連」学習者がいたり、新しい学習者が増えたりといった状況と、先に述べたアンケート結果での「教室に期待すること」の回答と合わせてみても、文法積み上げ式学習の形態がこの地域に住む外国人にアピールするものがあるとみていいだろう。

また日々の教室活動から、学習者の生活実態が伺えた。学習者は日ごろあまり外出せず、自分の家からとても近い範囲内でのみ行動しているのではないかということである。それは、学習者の話す話題がいつも同じで、ふくらみに欠けるところから感じた。現に、自分

の家の地区名と最寄りのスーパーと日本語教室ぐらいいは知っているが、通りの名前や、他の地区名は知らないし、観光名所や公園などがどこにあるのかも知らない人が多い。これでは、もし緊急な出来事や災害にあったとき、自分がどこにいて、どこへ行けばいいのかもわからず、取り残される恐れがある。

その他、女性学習者からは、食べ物の話題が良く出てくるのだが、その話題の中から、家族全員が食べられる日本料理やお弁当のおかずの作り方を習いたいという要望が聞こえてきた。地球人ネットワークでは、市内に住む外国人の方からその国の郷土料理を習う異文化交流イベントを年に数回開いてきたが、逆に外国人が日本料理を習って、文化を知るといふことも大切なことだと改めて気づかされた。

(3) アンケート結果を生かした教室運営の改善、カリキュラムの作成

外国人向けアンケートの結果と日本語教室ボランティアのミーティング、ボランティア向けアンケートを総合し、また現状の日本語教室の学習者の傾向や、学習内容、担当のボランティアなどからあがってくる意見を元に今後の教室運営、カリキュラムの作成を行っていくのだが、まずその拠り所となる考え方を説明したい。

学習者に必要な二本の柱とは

アンケートと日々の教室活動から見えてきたことをどう日本語教室に活かしていくかであるが、ここで日本語教育と地域情報について整理したい。

まず、日本語教育の面では日本語教室の役割を明確にした。日本語教室は、アンケートや、基礎文法を積み上げて学習する教室に参加者が増えていることから、日本語をシステムティックに段階を追って教えるところとして位置づける。その上で地域情報については日本語教育の観点から、学習した日本語の実践の場として地域につながる活動として位置づける。また、日本語教室参加者だけですべてを完結するには人手不足であること、参加者の顔ぶれや活動の幅が狭くなること、そしてボランティアも学習者も日本語学習とその他のことの線引きがしづらくなることから、二本の柱として位置づけ、駒ヶ根市社会福祉協議会のネットワークを活かして、ボランティア団体等に協力を仰ぎ、より多くの地域住民と日本語学習を基点に交流を図ることで、同じ地域に住む者同士、互いを知り、地域とつながっていくのではないかと考える。

二本の柱①：日本語教室の役割…各教室の特色

では、日本語教室で具体的にどうするのだが、教室の希望曜日・時間のアンケート結果を基に事業Ⅰ「外国人指導者を起用した教室の設置運営」で新規の教室（毎週水曜日午後7時から8時半まで）を立ち上げたこともあり、それぞれ火曜日・水曜日・土曜日の教室の特色を考えてみることにした。その際火曜日の教室については学習者の都合のいい時間と

ずれがあり、学習者数が少ないのが現状であったため、時間変更や存続の是非についてボランティアミーティング（平成 19 年 10 月から月 1 回開催）で検討した。

火曜日の学習者を考察すると、学習者はひらがな・カタカナが書けないし読めない人、来日して間もない人、そして小さいお子さんがいる人がほとんどであった。そういった背景の外国人がぼつり、ぼつりと現れ、少ないながらも参加者が増えているので、基礎文法を学ぶことはもちろんのこと、今後は子育て中のお母さん向けの内容も盛り込む教室という位置付けで存続とした。

具体的な各曜日の教室の特色づけは以下のようにする。

* 火曜日の教室（午後 1 時半～午後 3 時）

＜子育て中のお母さんを中心とした初級教室＞

* 水曜日の教室（午後 7 時～午後 8 時半）

＜学習者でもある上級グループ参加者が、適宜初級学習者に文法解説などを行う教室＞

* 土曜日の教室（午前 10 時～午前 11 時半）

＜基礎文法を積み上げて、基礎を固めていく＞

※火曜日と土曜日の教室では半年で学習範囲を一巡する

※ボランティアと学習者はそのタイミングに合わせ、グループを移動する

※但し、学習者はグループの学習範囲を終えるのを待たずにレベルの合うグループへ移動も可能である

平成 19 年 5 月から始まった週 2 回の教室が平成 20 年 2 月には週 3 回となった。水曜日の教室は夜の時間帯ということもあり、仕事を終えて参加する学習者がほとんどで、日本語能力検定 2 級程度の学習者も参加しているので火曜日と土曜日の教室とは雰囲気が違う。3 つの教室に共通して言えることは、学習者、ボランティア双方が教室で相互に交流していることと、そして初級のうちは文法を積み上げていき、ある程度のレベルまで来たら応用学習を取り入れていることだ。

二本の柱②：日本語の実践の場としての地域とつながる活動

この柱を中心とする活動は、駒ヶ根市社会福祉協議会が支援して他団体に協力を仰ぎ進めていくわけだが、アンケートの結果や日々の日本語教室の活動から見えてきたことを参考に、日本語教育の観点から日本語学習に基づく 3 つの活動を計画した。

1. 直接地域住民と交流する場としての日本料理教室開催
2. 地域を知る機会としての市内見学バス旅行の実施
3. 日本語学習の成果を測るため、また地域住民に外国人を知ってもらう機会としての日本語スピーチ大会開催

まず、1. 日本料理教室は日本料理を学び、一緒に調理することで地域住民との交流を目的としている。また、季節の野菜や行事にちなんだものを献立に取り上げて、日本の四季とともに食を楽しむ文化を感じ取ってくれることや、料理や交流を通して日本語でのコミュニケーションが上達することも期待している。

次に2. 市内見学バス旅行については地域を知る機会として、身近にある施設や、住んでいる地域や地名などを覚える手助けとなるようにすること。花見やお寺の参拝などを体験して日本文化に触れる内容にしたいと考えている。

そして3. 日本語スピーチ大会である。日本語学習の成果の発表と地域住民に外国人や日本語教室を広く知ってもらう機会として位置づけた。広く応募を呼びかけて日本語教室に参加している学習者だけにとどまらない大きい大会にしていく予定である。

上記の3つのイベントでは、計画の段階でいろいろな団体と連絡をとり、協力、支援を得ることができたが、それぞれの目的達成にどのくらい有効で、地域とどれほどつながっていけるかは、なお試行錯誤が必要である。

(4) 改善結果と課題

日本語教室

新規に水曜日の教室を始めるにあたり、夜の時間帯に参加できるボランティアの確保が必要となった。当初からの計画でもあったが、日本語教室で最も経験豊富な者が講師となって日本語ボランティア養成講座を開き、ボランティア確保に努めた。講座には25名の申し込みがあり、毎回20名余りの高出席率であった。講座は全5回と短いものであったが、「日本語教育の概要」、「日本語の体系」について講義を受け、その後実践者として、数名が日本語教室でボランティアとして参加している。

また、立ち上げ当初から参加しているボランティアも、教えることへの関わり方は様々ではあるが、普段の授業に参加して経験を積み、各グループで時折勉強会を開いている。しかし全体的に教え方をもっと勉強する必要があるという意識が高まり、連絡や話し合いなどを兼ねて、勉強会をするボランティアミーティングを平成19年10月から始めることにした。その結果、1人で教えられるまでになった人や、そこまではいかないまでも、授業の流れをつかんできているボランティアが増えた。そして学習者のレベルも進み、「みんなの日本語I」全25課を終える段階まできたため、土曜日の教室では初級3から更に上のグループ(名称:中級)を平成20年4月から開くことになった。

その他、初級1では今年(平成20年)に入ってから毎週火曜日の教室終了後に1時間の勉強会を開いている。目的は、新しい学習者が文字を読むことが出来ない場合、初級1のグループレッスンから分かれて、個別にひらがなやあいさつ、自己紹介、「こ・そ・あ・ど」などを指導できるような体制を整えるためである。使用する絵カードやプリントと、その

使い方をまとめたものを準備している。

地域とつながる活動

日本料理教室は3月までに3回実施した。事前に日本語教室で料理名や材料などを予習しておくのだが、講師を引き受けてくれた団体にとっては外国人に教えた経験がないので、どんな言葉を使えばいいのか、どう接したらいいのかわからないという意見が出された。

学習者の日本語能力レベルによっては、講師の説明や、調理に参加した日本人ボランティアとの会話において、日本語が難しく通じないことがあったが、実際に道具や材料そして作り方を目で見て、調理に携わることである程度は解決できた。また、普段外国人に接する機会がない料理講師たちと学習者の間に「つなぎ役」として日本語教室のボランティアが参加することで、初対面の者同士が交流しながら円滑に料理教室が進められたように思う。

参加した学習者の中には調理器具の使い方や、調理方法を熱心に聞く人もいた。日本料理教室後に家で作ってみたいという人もいた。2月の日本料理教室で「ひなまつり」を取り上げたら、10数年日本に住んでいるが初めて知ったという外国人もいた。感想の他に、「豚汁の作り方を教えてほしい」とリクエストした人もいた。

このように今後も参加者の意見・感想を取り入れながら継続していく予定である。

そして日本料理教室の講師については、駒ヶ根市社会福祉協議会が呼びかけたところ、予想以上に反響があって、引き受けてもいいと手を挙げてくれた団体がいくつかあり、日本語教室だけの活動にとどまらず、外へ広がっていくことが期待できる。

スピーチ大会については、今後規模が大きくなることも見込まれるが、今年度は平成20年3月29日（土曜日）に、試験的に日本語教室の学習者を対象とした日本語スピーチ大会を実施した。ちょうど3月末で日本語教室では各グループの学習範囲が一巡するので、締めくくりとしてタイミングが良かった。このスピーチ大会には、日本語教室のボランティアと学習者だけでなく、学習者の家族や、日本語教室ボランティア以外も発表を聞きに参加してくれた。

今回21人もの学習者（初級1は8人、初級2は5人、初級3は8人）が発表した。初級1は自己紹介、初級2は自国紹介をして、初級3は自由課題であったが、日本での生活や自国との文化の違いを述べた人が多かった。日本語教室の一環として、各グループで習った文型を駆使して作文を書き、発表した。学習者の中には家族の協力を得て、既習の文型以外の表現を使っていた人もいたが、「伝えたい・言いたい・表現したい」という気持ちの現れであり、よかったと思う。

実施してみて、企画をした我々にとって想定外の成果が2つあった。一つは、授業中は全員作文作成が難しいと感じ、読む声は小さく自信がなさそうだったのに、いざ本番では、緊張はしていても、しっかりとした声で話し、特に初級2や3の学習者は練習を上回る長

い作文を発表したことだった。一生懸命さが伝わった。もう一つは予想以上に発表する学習者が多かったことだ。これは普段のグループレッスンが、学習者、ボランティア共に楽しいこと、その楽しい雰囲気を肌で感じているから、スピーチ大会も多くの学習者が参加したのではないか。

発表後、学習者は一様に「緊張した」、「恥ずかしかった」と言っていたが、自分のことや、国の紹介、そして自国と日本の文化の違いなどをきちんと日本語の文章でまとめて、人前で発表したことは、少なからず自信となったのではないだろうか。また、初級1の学習者にとって、初級2や3の学習者が日本語で発表するのを見て、「自分も勉強すれば、話せて、書けるようになる」と、これからの日本語学習の励みになったと思う。

また、少数ではあるが一般の聴衆者も今回のスピーチ大会に来場していた。「日本語を学習して、一生懸命地域に慣れようとがんばっていることを知り、聞きに来てよかった」という感想もあり、普段、外国人と接する機会がないので知らない存在となっているが、スピーチ大会を通して、外国人の考えや、生活ぶり、その人柄を少しでも知るよい機会となった。

今回のスピーチ大会は、学習者にとってはこれまでの日本語学習の成果を発表する機会であり、ボランティアにとっては、継続して日本語教室を開いてきた結果を見るよい機会であった。広く地域住民に外国人や日本語教室を知ってもらうことにもなった。今回のスピーチ大会の運営面での反省を踏まえ、参加規模や実施時期等を日本語教室の経過を見ながら再検討してゆきたい。今後も継続した日本語学習の成果を見るために、定期的にスピーチ大会を開催してゆく。

二本の柱を支えるもの

先に述べた二本の柱を底辺から支えるのが、教室開催時の託児ボランティアの協力と、今後日本語教室を担っていくボランティアである。人材の確保と日本語を教える必要な知識、技術の獲得に努めているが、課題は多い。

◎託児

日本語教室には、子連れで参加する学習者やボランティアがいる。3歳前後のお子さんがほとんどで、保護者が見ているのだが、教室参加者のほとんどが子育て経験者であるため、子供がぐずついてもみんながその子どもを見るという具合で、温かく受け入れていた。ただ、3歳前後ではまだ予測のつかない行動を取るので、集中が途切れて、その人だけ少し席を離れることがあった。そこで子連れでも参加できるように、保育士の資格を持つメンバーが中心となり託児を設けることにした。それと同時に託児専門のボランティアを募集し、一般から大学生まで幅広く集まった。

また、新しく参加したボランティアの中にはお子さん連れが比較的多いことから、託児があれば小さいお子さんがいる保護者たちも参加しやすいことが伺える。そして託児の利

用の仕方も託児ボランティアミーティング（平成 20 年 2 月から月 1 回、日本語教室ボランティアミーティングと同時開催）と日本語教室ボランティアミーティングで検討して、とりまとめたものを平成 20 年 4 月から適用するために学習者向けの利用説明文書を準備し、平成 20 年 3 月 29 日に行ったスピーチ大会にて、説明を行った。

◎ボランティアの確保

週 3 回の教室を運営していくにはボランティアの確保が必須である。今回開いたボランティア養成講座は全 5 回の短いものではあったが、参加者は日本語を体系的に捕らえることに関心をもった。またブラッシュアップ講座を開いてほしいという要望や、実際教室に参加してみて、「どういったところに注意して授業を見たらいいのかわからない」という声もあった。養成講座で実際の授業を想定してもう一步踏み込んだ実践編まで回数を増やして行うことも必要だが、現在そこまでは人手が及ばない。

今後は年に 1 回のボランティア日本語指導者養成講座の開催とボランティアの定着、実践しながら教え方を学び、ボランティア同士で時折勉強会を開き外部からの講師も入れブラッシュアップしていく必要がある。

四. 今後取り組む具体的な計画

この地域にあった生活者としての外国人のためのカリキュラムは、日本語教室だけでは完結しない「地域づくり」の要素を含んだものが必要ではないだろうか。それは、①日本語教室で決まった時間にシステムティックに日本語を教える。②学んだ日本語の実践の場としての地域とつながる活動。の二本柱を平行して行うことだろう。

以下が今後の具体的な計画である。

(1) 日本語教室

- * 火曜日の教室（午後 1 時半～午後 3 時）
＜子育て中のお母さんを中心とした初級教室＞
 - ・ 文法を基礎から学ぶ
 - ・ ひらがな・カタカナ習得
 - ・ おたよりを読む
 - ・ 連絡帳を書く
 - ・ 学校幼稚園に即して、季節と行事を取り上げる

- * 水曜日の教室（午後 7 時～午後 8 時半）
＜学習者でもある上級グループ参加者が適宜初級の学習者に文法解説などを行う教室＞

3 グループ体制

- 1 クラス
マンツーマンレッスン
ひらがな・カタカナ習得
日本語の発音に慣れる
簡単な会話で買い物が出来る
- 2 クラス
グループレッスン
日常生活に必要な会話ができる
- 3 クラス
グループレッスン
より高度な会話ができる
文章の読み書き能力を高める
能力試験 2 級合格を目指す

* 土曜日の教室（午前 10 時～午前 11 時半）

<基礎文法を積み上げて、基礎を固めていく>

- 4 グループ体制
- 初級 1
グループレッスン
かなが読めない・書けない人向けのかな学習コースを設ける
ひらがな習得
日本語の発音に慣れる
自己紹介ができる
簡単な会話で買い物が出来る
行き先が言える
- 初級 2
グループレッスン
カタカナ習得
日常生活に必要な会話ができる
- 初級 3
グループレッスン
動詞の活用ができる
動詞を活用して複文で状況説明や、自分の意見が言える
日常生活でよく目にする漢字習得
- 中級

グループレッスン

会話を中心とする

使用テキスト「みんなの日本語」をすすめる

※火曜日と土曜日の教室では半年で学習範囲を一巡する

※ボランティアと学習者はそのタイミングに合わせ、グループを移動する

※但し、学習者はグループの学習範囲を終えるのを待たずにレベルの合うグループへ移動も可能である

(2) 地域とつながる活動

日本料理教室（毎月第4日曜日）

目的：地域住民と交流する場

主催：駒ヶ根市社会福祉協議会・地球人ネットワーク

*コーディネーターは地球人ネットワークの日本語教室ボランティアが行う

開催予定日	協力団体	献立
5月25日	ときめきランチA	五平餅とたけのこ料理
6月22日	くりんそう	そばうち
7月27日	地球人ネットワーク	BBQ キャンプ場にて
8月24日	食生活改善推進協議会	未定
9月28日	食生活改善推進協議会	未定
10月25日	未定	未定
11月22日	ときめきランチC	未定
12月21日	食生活改善推進協議会	未定
1月25日	食生活改善推進協議会	未定
2月22日	未定	未定
3月22日	未定	未定

市内見学バス旅行（年2回程度）

目的：地域を知ることと、日本文化に触れる

主催：駒ヶ根市社会福祉協議会・地球人ネットワーク

開催予定	主催協力団体	備考
春4月12日	駒ヶ根市	*お花見を兼ねて市内主要施設を周る
秋 未定	未定	未定

日本語スピーチ大会

目的：学習者とボランティアの相互の交流を図り、それまでの日本語学習の成果を発表する

広く地域住民に外国人や日本語教室を知ってもらう

主催：駒ヶ根市社会福祉協議会・地球人ネットワーク in こまがね

(3) カリキュラムを充実するために

1. 子育て中のお母さんを対象とする教室は、まだ基礎文法を固めている段階であるため、子育てに役立つ具体的な内容を加える。
2. 各教室の実施記録を元に、カリキュラムの改善点を検討していく。
地域とつながる活動についても一つ一つのイベントが活動目的に合っているかどうか適時検討していく。
3. 日本語教室の一環としてスピーチ大会を定期的に関開形態を維持しつつ、地域住民にその存在を周知してもらう方法を考える。
4. 日本語教室参加者以外の外国人を巻き込んだ規模の大きなスピーチ大会開催については、今後の日本語教室の経過を見ながら、運営ノウハウも含めて検討する。
5. スピーチ大会以外にも、地域住民に外国人や日本語教室の活動を知ってもらう手法について検討する。
6. 立ち上がったばかりの団体なので運営体制に弱いところがある。これまで日本語教室の連絡・窓口部分を駒ヶ根市社会福祉協議会が中心になって行っているため、独自のコーディネーターの養成が求められている。

五. 社会福祉協議会の役割

(1) 生活者としての外国人の抱える悩み事の相談窓口

当社協では、市内の小中高9校を対象に福祉教育推進校事業を実施している。この事業により、各学校に在籍する外国籍児童生徒の日本語学習・教科指導の悩みが社協によせられるようになった。また、児童の家庭の問題等、学校が関わるのが難しい課題についても社協で対応するケースがでてきている。

さらに、満州開拓団を多く送り出した地域として日本国籍を取得した中国帰国者や、国際結婚により日本国籍を取得した外国出身の市民の抱える悩み、こうした方々の暮らす地域の住民とのトラブルなども社協の相談窓口寄せられている。

社協では、そのネットワークを活かして、市役所の入り口に外国語の話せる担当者を配置した外国人相談受付の設置を要望し実現にむすびつけたり、行政、民生委員やボランティアなどと連携し、様々な相談事の解決に取り組んでいる。

(2) サポート体制の組織化

外国籍住民などの当事者、民生委員・保育士等の支援に関わる方々からの相談やサポート体制の必要性が社協に寄せられる中で、社協では、外国人支援・交流を目的とするボランティアグループ「地球人ネットワーク in こまがね」の立ち上げを支援してきた。

駒ヶ根市では、すでに日本語教室は開設されていたが、人材の不足や外国人のニーズに対応できる体制がなくその運営に苦慮していた。外国人の支援を行うためには、まず、支援を担う中核グループの組織化が必要であった。そこで、社協の広報やイベント、ネットワークを活用して市内の人材発掘に取り組んだ。

また、社協のボランティアコーディネーターが青年海外協力隊OBであること、駒ヶ根市には青年海外協力隊の訓練所があるという環境もあり、日本語指導の専門家や外国人支援に興味のあるボランティアが多数参加してグループの組織化が実現した。

このグループと社協の共催で「日本語ボランティア養成講座」を開講、日本語教室の担い手の確保と養成を行い、組織強化も図ってきた。

他にも、中国帰国者から社協に寄せられた介護相談がきっかけで、当事者同士や地域住民との交流を目的とする「華和倶楽部（中国帰国者の会）」の結成につながった。

この会ができたことで、地域防災の大きな課題であった外国人を要援護者として把握することや、災害時の情報を伝達する連絡網の構築などにつながっていった。また、この会では、大勢の日本語学習希望者があり、新たに「中国帰国者対象の日本語教室」の開講も実現している。

社協の役割として、こうした組織化の取り組みに必要な資金、場所などの提供と共に、ネットワークを活かした人材の発掘、養成、広報や他団体への協力依頼、情報の提供などコーディネート全般について支援している。

(3) 運営、企画への支援

日本語教育事業では、日本語教室の運営と社会参加の活動に取り組んでいるが、日本語教室の運営では、市の協力も得て、場所の確保、開講の準備、申込みの受付や案内など、事務局機能を担っている。

社会参加を目的とする交流事業等においては、企画から、外部資源との協働を働きかけ各種ボランティアグループへのつなぎなど社協のネットワークを活かした支援をしている。

(4) 行政、企業、NPOやボランティア団体等との連携

社協のもつ各種団体とのネットワークを活用した支援は、大きな役割の一つである。

① 行政との連携

この事業は行政の協力が不可欠であり、外国人も一市民であることから、果さなければならぬ役割も大きい。これまでの取り組みでは、日本語教室の場所の無償提供、市役所への外国人受付窓口の設置、市広報誌への掲載、アンケート調査への協力、託児室の開放などの支援を頂いている。

これからの課題として、こうした事業をコーディネートする人材（現在は、社協のボランティアコーディネーターが兼務）の確保に必要な人件費の確保、共生コミュニケーター（県事業）の活用なども図って行きたい。

② 企業との連携

社協の構成メンバーには福祉を考える企業の会や商工会議所、JAなど様々な企業人も加わっている。そのつながりを活かして、企業に働く外国人社員への働きかけや自社の外国人従業員を企業として支援するなどの取り組みを仕掛けている。日本語教室に自社の外国人社員を送迎する企業、日本語教室の開催案内やボランティア養成講座などのチラシを社員に配布してくれる企業などが生まれている。

これからの活動として、企業への出前外国人相談の働きかけや多文化共生コミュニケーターと企業とのマッチングなどが考えられる。

③ NPOやボランティア団体、学校、病院、消防署、金融機関などとの連携

日本語教室や交流会には、小さな子供さんを抱えて参加される方もいる。そうした方への対応として、託児をボランティアや子育てサークルなどの協力で行っている。今後、この託児の取り組みを通じて、子育てサークルに参加したり、他のお母さんたちとつながりができるような形にしていきたい。

JC（日本青年会議所）や各種ボランティアグループには、交流事業などイベントへの協力をいただいている。ここでも、つながりを活かし、社会参加のきっかけとなればと考えている。

市内には小中高校合わせて9校あり、福祉教育事業等により年間を通じての関わりがある。現在は、外国籍児童への個別支援をおこなっているが、今後、福祉教育に外国人理解（多文化共生）の学習を組み入れていただくような働きかけをしていきたい。また、県立の看護大学からは、異文化看護学を教える教授から、学生を参加させたいと申し入れがあり、新たなつながりができつつある。

その他、病院、金融機関の職員の協力で、窓口での受付体験や消防署による緊急時

対応の講習会などを行う予定である。

(5) 生活支援

日本語教室や交流事業での出会いをきっかけに、参加される外国人が抱えている生活課題を掴み、社協が実施している相談事業（よろず相談、司法書士や弁護士による法律相談、結婚相談、介護相談など）を活用することで様々な悩み事の解決につなげている。

今後の取り組みとして、誰もがいつでも集まれて、悩み事など気軽に発信出来る居場所づくりがある。日本語教室では、日本語を学ぶことが中心となるため、教室外にお茶を飲んだり、おしゃべりしたり、みんなで楽しく集える場所の確保が求められている。

(6) 人と人をつなぐ

日本語教室に参加している外国人のなかには地域の子供会の役員を担うなど、しっかりと地域の一員として頑張っている方もいる。これからの支援のあり方として、外国人を支援の対象としてのみ見るのではなく、同じ地域で暮らす一市民としての役割を持ってもらい、担い手として社会参加していけるような取り組みにしたい。社協には様々なボランティアグループや地域の福祉活動に取り組む市民が結集している。こうした資源を活かし、ボランティア活動や地域のサロンへの参加を通じて、担い手として社会参加していける環境づくりも社協の役割である。

(7) まとめ

「生活者としての外国人に対する日本語教育事業」における社会福祉協議会の役割は、協議体として社協のもつネットワークを活かし、「言語面を中心とした学習支援」を側面から支援することと、社協本来の仕事でもある「地域で共に暮らす住民としての生活支援」にある。生活支援の様々なツールを持つ社協が日本語教室とつながる事で、教室を地域に開き、学習者が抱える悩みを共有し、解決していくなかでコミュニティの一員として主体的に社会参加していけるような仕組みを作ることである。また、多様な団体、機関とのネットワークにより、司法書士、弁護士、医師など専門家を必要とする課題にも迅速に対応する事で、一市民として安心して暮らせるよう支援することも重要な役割である。

今回の委嘱事業の「生活者としての外国人のための日本語教育事業」は、まさに今、当社会福祉協議会が取り組まなければならない、地域で暮らす外国人への支援課題そのものであるといえる。

一住民として、地域で暮らす外国人の様々な生活課題に対応するために、社会福

祉協議会が日本語教室を支援する意味は大きい。単に言葉の習得支援にとどまらず、安心して暮らすことができるよう、生活全般への支援を視野に入れた日本語教育における社会福祉協議会の役割がこの事業を通じて明らかになった。

付録

日本語教室に来ている人、一度でも来たことのある人
（郵送・手渡し）対象

2007年11月後半実施

回収
数

32

来日年数

半年以内	6
半年から1年	4
1年から2年	6
2年から3年	7
3年から5年	3
5年以上	6

駒ヶ根在住年数

半年以内	7
半年から1年	3
1年から2年	7
2年から3年	6
3年から5年	0
5年以上	6

母語 _____

英語	1
中国語	8
ポルトガル語	2
タガログ語	5
インドネシア語	5
ベトナム語	3
その他	6
空欄	0

母語以外に話せる言語

日本語	18
-----	----

英語	11
中国語	0
ポルトガル語	1
タガログ語	2
インドネシア語	0
ベトナム語	0
その他	3
なし（未記入）	8

性別

男	12
女	18
不明	2

年齢

～19	1
20～29	13
30～39	10
40～49	5
50～59	0
60～	0
不明	3

今後の滞在予定年数

1～3年	9
3～5年	0
5～10年	2
10年以上	2
永住	18
不明	1

仕事

学生	3
研修生	9
専業主婦	8
正社員	4

パート社員	6
無職	1

1-1 この日本語教室を知っていますか。

知っている	28
知らない	4

1-2 日本語を勉強したいですか。

勉強したい	26
勉強したいが時間がない	6
勉強したくない	0

1-3 この日本語教室ができる前、日本語を勉強したことがありますか。

ある	25
ない	7

1-4 1-3で「ある」と答えた人に聞きます。どのように日本語を勉強しましたか。（複数回答）

他の教室で勉強した	14
家族や友達が教えてくれた	9
テレビ・ラジオ講座で勉強した	2
一人でテキストを使って勉強した	10

どこで勉強しましたか？

- * 学校の日本語教室
- * 自分で勉強した
- * ブラジルで
- * いなっせ
- * インドネシア（ベトナム）で4ヶ月（研修生）
- * 駒ヶ根に来る前に（研修生）
- * 駒ヶ根文化センターで
- * 伊那さくら組
- * 公文
- * 会社で

2-1 今の開講時間はあなたにとって来やすい曜日と時間ですか。

どちらもいい	5
どちらも悪い	0
どちらでもない	3
火曜○、土曜×	0
土曜○、火曜×	22

2-2 どの曜日と時間帯が都合がいいですか。（複数回答）

日	8
月	5
火	6
水	6
木	4
金	9
土	27

10 : 00～11 : 30	20
13 : 30～15 : 00	5
15 : 00～16 : 30	6
17 : 00～18 : 30	0
19 : 00～20 : 30	4
19 : 30～21 : 00	7

* 土曜日でこの時間、という人が多い。

* 金曜日でこの時間、という人が多い。

2-3 アルパの場所はどうですか。

いい	31
わるい	0

* 便利 * うちに
利 近い

2-4 1回¥200の料金はどうか。

高い	0
安い	3
ちょうどいい	15
もっと高くても	4
もっと安いほうがいい	8

3-1 上級クラスがほしいですか。

ほしい	17
いまのままでいい	7
どちらでもいい	5
わからない	1

* 同国人と一緒にがいい

3-2 グループレッスンより個人レッスンのほうがいいですか。

グループ	25
マンツーマン	5

* 同じレベルの人と一緒に勉強するのが大切だと思う。

3-3 現在のほんごきょうしつに対する不満はありますか。

ある人は、具体的に教えてください。

ある	3
ない	23

具体的に

- * レベルがあっていない。
- * 説明がわからない。
- * 文法や読解方面をたくさん勉強したい。

4 日本語教室に期待することはなんですか。

日本語の文法が勉強できる	28
日本の生活事情を知ることができる	21
同国人や、地域に住む外国人と知り合いになれる	16
同国人と情報交換ができる	11
普段聞けない日本の常識について日本人に聞くことができる	16
その他	3

- * 礼儀、習慣、付き合い方を学びたい。
- * 流暢に日本語を話すため
- * 漢字、会話、習慣

- * ひらがな、カタカナ、漢字の読み書き
- * 主にサバイバルジャパニーズ、基本的な場面（買い物、郵便局などで）でのコミュニケーション能力

5 現在教室では日本語で説明していますが、母語又はあなたがわかる言語で文法などの説明を聞きたいですか。

聞きたい	7
聞かなくていい	14
どちらでもない	5

6-1 日本語能力検定試験があることを知っていますか。

知っている	3
知らない	16
聞いたことはあるが、よく知らない	8

6-2 日本語能力試験を受けたいと思いますか。

今年又は来年受けたい	7
いつか受けたい	11
興味がない	0
分からない	8

7 もし、あなたが住んでいる地区の集会所やあなたが働いている職場で日本語教室を開くとしたら、あなたは参加したいですか。

参加したい	22
参加しない	0
わからない	4

* でも勉強する時間が問題

8 日本語ができないことで、困っていることはどんなことですか。

<市役所>

- 市役所など行政の通知文を読む
- 市役所の各種申請をするとき
- その他

16
13
3

* 学校の手紙を読むとき

* 仕事の説明書を読むとき

<銀行／郵便局>

<input type="checkbox"/> 銀行の窓口で口座を開く／預け入れ・引出しを依頼する／送金する など	12
<input type="checkbox"/> 郵便局で荷物を出すとき	5
<input type="checkbox"/> その他	4

<職場>

<input type="checkbox"/> 会社で電話をかけるとき、受けるとき	9
<input type="checkbox"/> パソコンでメールをするとき	7
<input type="checkbox"/> 上司や同僚と話すとき	11
<input type="checkbox"/> その他	4

* 健康保険、税金などの申込書や同意書

<家庭>

<input type="checkbox"/> 家で電話をかけるとき、受けるとき	12
<input type="checkbox"/> 新聞や広告を読むとき	14
<input type="checkbox"/> 学校の通知文を読む	11
<input type="checkbox"/> 子供の学校での様子や、家での様子を先生に話すとき	7
<input type="checkbox"/> どんな学校行事があるのか一般的なことを知りたい	13
<input type="checkbox"/> 子供に絵本を読んであげたい	5
<input type="checkbox"/> 家族とのコミュニケーションをとりたいが、話し方がわからない	9
<input type="checkbox"/> ゴミの分別の仕方・リサイクルの仕方・ゴミの出し方	3
<input type="checkbox"/> その他	2

<医療>

<input type="checkbox"/> 病院での受付の仕方や、診察を受けるとき	11
<input type="checkbox"/> 薬局で薬をもらうとき	8
<input type="checkbox"/> 予防接種を受けるとき	7
<input type="checkbox"/> 介護サービスの説明を受けるときや、ソーシャルワーカーとのコミュニケーションをとるとき	12
<input type="checkbox"/> その他	4

* 病院の規則などを読んだり、答えたりするとき。

<地域>

- 災害時の避難の仕方や情報伝達の仕方
- 火事や、捜索などの緊急の放送がわからない
- その他

17
11
2

<上記以外にあればなんでも書いてください>

- * 文法や単語の使い方が覚えられない。助詞の使い方がわからない。聞いて分かるが話せない。
- * (困るのは) 交流する時！いま、私は時々日本人の話が聞き取れるけど、話す段になると話せないのです。日本語を勉強する方法が悪いのか、いつも覚えられず、勉強したくなくなります。勉強した文法や単語が使えません。
- * 自分で日本語を勉強していたときに、読解と文法が一番頭の痛い問題でした。だからこの日本語教室を通してなかなか解けない問題について勉強したいと思います。
- * 手紙をいただいてありがとうございます。私はもっともっと日本語を勉強をしたい。書き方、読み方、子供の学校のプリントなどなど、分からないので困ります。仕事がいそがしくて、土曜日休みをできないから、できたら、夜のほうがよろしくお願いします。(原文ひらがな)
- * 私に言えるのは、日本語を楽しく勉強しているということ、この教室から多くのことを学んでおり、もっとたくさんのかたちを、続けて勉強したいということです。スタッフや、教えてくれる先生にとっても感謝しています。
- * 英語話者向けの「Japanese for busy people」のほうが、「みんなの日本語」より有効だと思う。一人で勉強できるし、宿題があっても可能だから。
- * 「みんなの日本語」はいいと思うが、オーディオ教材や練習帳などを使っていないとうまくいかないと思う。
- * 日本語を学習している人たちのニーズにこたえるために地域の団体ががんばってくれていることに感謝している。ありがとう。
- * 質問したり、コミュニケーションをとるための新しい知識をたくさん学びました。先生たちが分かりやすく教えてくれていいと思います。ここに住む外国人に続けて教えてくれることを願います。ありがとうございます。

2007年12月2日実施 配布数 20 回収数 19

（注）実際参加している教室と混同している可能性あり

来日年数

半年以内	1
半年から1年	1
1年から2年	2
2年から3年	1
3年から5年	4
5年以上	9

駒ヶ根在住年数

半年以内	0
半年から1年	2
1年から2年	2
2年から3年	0
3年から5年	3
5年以上	10
空欄	2

母語

中国語	19
-----	----

母語以外に話せる言語

日本語	7
英語	4
なし	2
空欄	7

性別

男	7
女	12

年齢

～19	0
20～29	5
30～39	7
40～49	4
50～59	3
60～	0

今後の滞在予定年数

1～3年	0
3～5年	1
5～10年	1
10年以上	0
永住	16
空欄	1

仕事

学生	0
研修生	1
専業主婦	2
正社員	5
パート社員	7
無職	1
空欄	3

1-1 この日本語教室を知っていますか。(注)

知っている	12
知らない	6
空欄	1

1-2 日本語を勉強したいですか。

勉強したい	17
勉強したいが時間がない	1
勉強したくない	0
空欄	1

1-3 この日本語教室ができる前、日本語を勉強したことがありますか。(注)

ある	10
ない	9

1-4 1-3で「ある」と答えた人に聞きます。どのように日本語を勉強しましたか。(複数回答)

他の教室で勉強した	1
家族や友達が教えてくれた	1
テレビ・ラジオ講座で勉強した	1
一人でテキストを使って勉強した	6
その他	0
空欄	0

2-1 今の開講時間はあなたにとって来やすい曜日と時間ですか。(注)

どちらもいい	6
どちらも悪い	3
どちらでもない	2
火曜○、土曜×	0
土曜○、火曜×	4
空欄	5

2-2 どの曜日と時間帯が都合がいいですか。(複数回答)

	日	月	火	水	木	金	土
10:00~11:30	3						3
13:30~15:00	13						2
15:00~16:30	10						2
17:00~18:30	2						
19:00~20:30	1		1				
19:30~21:00	1	1	1	1	1	1	3

2-3 アルパの場所はどうですか。

いい	15
わるい	
空欄	4

* 場所を知らない

2-4 1回¥200の料金はどうですか。

高い	2
安い	1
ちょうどいい	8
もっと高くてもいい	1
もっと安いほうがいい	5
空欄	3

3-1 上級クラスがほしいですか。(注)

ほしい	4
いまのままでいい	6
どちらでもいい	3
わからない	0
空欄	6

3-2 グループレッスンより個人レッスンのほうがいいですか。

グループ	13
マンツーマン	1
空欄	5

3-3 現在の日本語教室に対する不満はありますか。ある人は具体的に教えてください。

ある	1
ない	13
空欄	5

↑「現在の」は日曜日の教室と考えられている可能性あり

* 授業の進度(速度)が遅すぎる。もしずっとこの調子なら「みんなの日本語」一冊終わるのにどのくらいかかるかわからない。それから、2週間に一度というのは少なすぎる。日本語を教えるということは、学びたい人に教えるということだ。学びたくない人にはどうしたって教えられない。←教えたって無駄だ

4 日本語教室に期待することはなんですか。(複数選択)

日本語の文法が勉強できる	13
日本の生活事情を知ることができる	10
同国人や、地域に住む外国人と知り合いになれる	6
同国人と情報交換ができる	5
普段聞けない日本の常識について日本人に聞くことができる	6

その他	1
-----	---

* もう一度学ぶ課程を体験したいから

5 現在教室では日本語で説明していますが、母語又はあなたがわかる言語で文法などの説明を聞きたいですか。

聞きたい	12
聞かなくていい	2
どちらでもない	0
空欄	5

6-1 日本語能力検定試験があることを知っていますか。

知っている	5
知らない	5
聞いたことはあるが、よく知らない	5
空欄	5

6-2 日本語能力試験を受けたいと思いますか。

今年又は来年受けたい	1
いつか受けたい	8
興味がない	3
分からない	3
空欄	4

7 もし、あなたが住んでいる地区の集会所やあなたが働いている職場で日本語教室を開くとしたら、あなたは参加したいですか。

参加したい	13
参加しない	0
わからない	1
空欄	5

8 日本語ができないことで、困っていることはどんなことですか。

<市役所>

市役所など行政の通知文を読む

9

市役所の各種申請をするとき

10

その他

- * 病院のこと
- * 行ったことがない
- * 日本人の人に質問したり、話したりするのが難しい
- * 全部。日本語ができないから
- * 日常生活で遭遇するいろいろなこと

10	}
2	
5	

<銀行／郵便局>

- 銀行の窓口で口座を開く／預け入れ・引出しを依頼する／送金する など
- 郵便局で荷物を出すとき
- その他
 - * 子供と一緒にいく
 - * 行ったことがない
 - * 日本語がうまくできないから

9
5
5

<職場>

- 会社で電話をかけるとき、受けるとき
- パソコンでメールをするとき
- 上司や同僚と話すとき
- その他
 - * 行ったことがない
 - * 幼稚園の先生と話したりするのが難しい
 - * たくさんある

5
7
12
5

<家庭>

* 家庭・医療・地域の欄がノーコメントだった回答者が2名

- 家で電話をかけるとき、受けるとき
- 新聞や広告を読むとき
- 学校の通知文を読む
- 子供の学校での様子や、家での様子を先生に話すとき
- どんな学校行事があるのか一般的なことを知りたい
- 子供に絵本を読んであげたい
- 家族とのコミュニケーションをとりたいが、話し方がわからない
- ゴミの分別の仕方・リサイクルの仕方・ゴミの出し方

9
9
4
7
8
4
3
3

その他

2

* たくさんある

<医療>

病院での受付の仕方や、診察を受けるとき

7

薬局で薬をもらうとき

4

予防接種を受けるとき

5

介護サービスの説明を受けるときや、ソーシャルワーカーとのコミュニケーションをとるとき

10

その他

2

* 行ったことがない

<地域>

災害時の避難の仕方や情報伝達の仕方

8

火事や、捜索などの緊急の放送がわからない

8

その他

1

<上記以外にあればなんでも書いてください>

* 仕事を探すことがとても大切だ。話ができなければ、仕事を探すのが厳しい。それに言葉ができなければ、社会に溶け込むのにも苦労する。

日本語教室のアンケート（日本語教室参加者以外 * 1）集計結果

2007年12月～2008年
1月実施

配布数

回収数

24

* 1 駒ヶ根市内の小中高等学校の
外国籍児童の保護者・伊那（さく
らぐみ）

来日年数

半年以内	3
半年から1年	0
1年から2年	1
2年から3年	4
3年から5年	1
5年以上	15

24

駒ヶ根在住年数

半年以内	3
半年から1年	1
1年から2年	1
2年から3年	3
3年から5年	2
5年以上	8
駒ヶ根市外	6

24

母語

中国語	6
ポルトガル語	6
タガログ語	4
英語	5
その他	4

25

（複数回答有り 仏・西・ウルドゥー語・アムハラ語）

母語以外に話せる言語

日本語	10
英語	8
その他	4
なし	4
ノーコメント	2

28

（複数回答有り 仏・西・伊・アラビア語・少数民族語）

性別

男	12	24
女	12	

年齢

～19	3	24
20～29	6	
30～39	11	
40～49	2	
50～59	1	
60～	0	
不明	1	

今後の滞在予定年数

1～3年	3	24
3～5年	1	
5～10年	3	
10年以上	5	
永住	12	

仕事

学生	3	24
研修生	0	
専業主婦	2	
正社員	8	
パート社員	10	
無職	1	

1-1 この日本語教室を知っていますか。

知っている	13	24
知らない	11	

1-2 日本語を勉強したいですか。

勉強したい	17
-------	----

勉強したいが時間が ない	6	24
勉強したくない	1	

1-3 この日本語教室ができる前、日本語を勉強したことがありますか。

ある	12	24
ない	11	
ノーコメント	1	

1-4 1-3で「ある」と答えた人に聞きます。どのように日本語を勉強しましたか。(複数回答)

他の教室で勉強した	10	カナダ・ニュージーランド・公立学校・さくらぐ み(伊那)・TIJ(東京)・三重/名古屋・その 他日本語学校
家族や友達が教えてくれた	5	
テレビ・ラジオ講座で勉強した	7	
一人でテキストを使って勉強した	4	
ノーコメント	6	

32 (複数回答有り)

2-1 今の開講時間はあなたにとって来やすい曜日と時間ですか。

どちらもいい	4	28 (複数回答有り)
どちらも悪い	4	
どちらでもない	4	
火曜○、土曜×	3	
土曜○、火曜×	9	
空欄	4	

2-2 どの曜日と時間帯が都合がいいですか。(複数回答)

	日	月	火	水	木	金	土
10:00~11:30	5	1	1		1	1	7
13:30~15:00		2	2	1	2	2	1
15:00~16:30						1	4
17:00~18:30				1			2
19:00~20:30	1	1	1	1	1	1	1

19:30~21:00			1			2	
計	6	4	5	3	4	7	15

2-3 アルパの場所はどうですか。

いい	18	24
わるい	2	
空欄	4	

*週一回出席するだけだから

*駅から近くて割と便利

2-4 1回¥200の料金はどうですか。

高い	0	25 (複数回答有り)
安い	5	
ちょうどいい	14	
もっと高くても	3	
もっと安いほうが	2	
空欄	1	

*100円ならいい

3-1 上級クラスがほしいですか。

ほしい	4	25 (複数回答有り)
いまのままでいい	5	
どちらでもいい	6	
わからない	3	
空欄	7	

3-2 グループレッスンより個人レッスンのほうがいいですか。

グループ	17	25 (複数回答有り)
マンツーマン	7	
空欄	1	

*どちらもいい

3-3 現在のほんごきょうしつに対する不満はありますか。

ある人は、具体的に教えてください。

ある	2
ない	19

空欄	3	24
----	---	----

* 火曜と土曜の授業では休みが合わない。夜か日曜のいつかにしてほしい。

* 木曜日の上級クラス（事業Ⅲ指導者養成講座）に参加しているが、時々レベルが合わない

4 日本語教室に期待することはなんですか。

日本語の文法が勉強できる	18
日本の生活事情を知ることができる	10
同国人や、地域に住む外国人と知り合いになれる	8
同国人と情報交換ができる	5
普段聞けない日本の常識について日本人に聞くことができる	10
その他	3

*学生の感覚を取り戻す

*漢字を勉強したい

*もう少し日本文化（習慣）を知りたい

5 現在教室では日本語で説明していますが、母語又はあなたがわかる言語で文法などの説明を聞きたいですか。

聞きたい	10	24
聞かなくていい	7	
どちらでもない	7	

6-1 日本語能力検定試験があることを知っていますか。

知っている	6	24
知らない	11	
聞いたことはあるが、よく知らない	7	

6-2 日本語能力試験を受けたいと思いますか。

今年又は来年受けた い	3	24
いつか受けたい	10	
興味がない	6	
分からない	2	
空欄	2	
1級合格者	1	

* 日本に来て1年で合格した

7 もし、あなたが住んでいる地区の集会所やあなたが働いている職場で日本語教室を開くとしたら、あなたは参加したいですか。

参加したい	17
参加しない	1
わからない	6

24

8 日本語ができないことで、困っていることはどんなことですか。

<市役所>

- 市役所など行政の通知文を読む
- 市役所の各種申請をするとき
- その他
- * 仕事探し
- * 夫が日本語がわかるので大丈夫です

18
11
2

<銀行／郵便局>

- 銀行の窓口で口座を開く／預け入れ・引出しを依頼する／送金する など
- 郵便局で荷物を出すとき
- その他

7
6
3

<職場>

- 会社で電話をかけるとき、受けるとき
- パソコンでメールをするとき
- 上司や同僚と話すとき
- その他
- * 業務文書の漢字がわからない
- * 社内文書や契約書などが難しい
- * 仕事するとき、言葉がわからないのでどうやったらいいかわからない
- * 仕事をするとき間違えてしまう

9
5
12
4

<家庭>

- 家で電話をかけるとき、受けるとき
- 新聞や広告を読むとき
- 学校の通知文を読む

10
17
13

<input type="checkbox"/> 子供の学校での様子や、家での様子を先生に話すとき	11
<input type="checkbox"/> どんな学校行事があるのか一般的なことを知りたい	11
<input type="checkbox"/> 子供に絵本を読んであげたい	7
<input type="checkbox"/> 家族とのコミュニケーションをとりたいが、話し方がわからない	7
<input type="checkbox"/> ゴミの分別の仕方・リサイクルの仕方・ゴミの出し方	9
<input type="checkbox"/> その他	2
*地域・隣組などでイベントをするとき	

<医療>

<input type="checkbox"/> 病院での受付の仕方や、診察を受けるとき	10
<input type="checkbox"/> 薬局で薬をもらうとき	7
<input type="checkbox"/> 予防接種を受けるとき	7
<input type="checkbox"/> 介護サービスの説明を受けるときや、ソーシャルワーカーとのコミュニケーションをとるとき	7
<input type="checkbox"/> その他	4
*家族の健康状態についてよく知りたい	
*漢字が入っている文章が大変	

<地域>

<input type="checkbox"/> 災害時の避難の仕方や情報伝達の仕方	9
<input type="checkbox"/> 火事や、捜索などの緊急の放送がわからない	12
<input type="checkbox"/> その他	4
*家で起こったことを隣人に知らせること	
*回覧板がわからない	

<上記以外にあればなんでも書いてください>

*一言では言い尽くせません。日本に来て16年、やはり生活の様々な面で言葉が原因で不便なことや困難なことがあります。日本に来て1年で1級に受かったとは言え、実際の生活での日本語と、本の中の日本語はまったく違います。本当に学ぶことに終わりはなく、そして、生きている限り勉強だという言葉の深い意味を感じます。

*特にコメントはありませんが、提案として、漢字の読み方や書き方を学ぶことで、さらに日本語に慣れてくると思います。

2007年11月後半実施

回収数

1 今の開講時間は来やすい曜日と時間ですか。

どちらもいい	5
どちらもわるい	2
どちらでもない	4
火曜○、土曜×	5
土曜○、火曜×	3

* 冬の間は

2-1 1週間に2回教室があるのは多いですか。

多い	4
少ない	2
ちょうどよい	12

2-2 選んだ理由を教えてください

- ・今のところ、ちょっと負担。
- ・平日しか来れない人と、休日しか来れない人がいると思うので、ちょうど良いのでは。
- ・時間のやりくりができない。今までの何かを削らないと、今は家事を削っているかんじ。
- ・参加しなければいけないと感じるから。
- ・他の曜日もやってほしいという要望はあるかもしれないが、多いとボランティアも大変だと思う。
- ・火曜日、参加者が少なく、夕、または夜に変更されるのであればなくしてもよいかとも思う。自分には週2くらいがよい。
- ・多いほうが学習者が選べるから（選択の幅が広がる）。夜も必要。
- ・平日は仕事だから。
- ・ボランティアとしては2回は多いが、生徒側にとっては1回では勉強が進まないということもあると思う。
- ・初級の場合は火、土と2回来ている人がいるので、ちょうどよいにした。
- ・他の曜日の希望者もいるかも
- ・夜間コースも可能なら、よりベター
- ・子供が小さいので、できる限り行くようにがんばっています。外国人の一人として、みんなと一緒にいるだけで勉強になる。
- ・学習者にとってもボランティアにとっても負担のない回数だと思うから。
- ・意外と予定が入ったりして2回両方に参加するのは難しい。

3-1 新規で夕方または夜の時間に教室を開くとしたら、あなたは参加できますか。

参加できる	2
参加できない	4
曜日によって可	6
手伝う程度*	9

・子供がいるので夕方は不可能。

・夕方なら可能

*時間の都合がつけば、人手が足りないときに手伝う程度なら参加できる

3-2 新規で夕方又は夜の時間に教室を開くとしたら、いつがいいですか。

曜日	日曜日	0
	月曜日	4
	火曜日	5
	水曜日	8
	木曜日	7
	金曜日	6
	土曜日	4

時間	15:00~16:30	2
	17:00~18:30	1
	19:00~20:30	11
	19:30~21:00	6

・18:00, 18:30 スタートだと都合がいいけれど。

4-1 報酬についてご意見をお聞きます。

もらうべきだ	2
もらうべきではない	0
あったらいい	8
なくてもいい	4
どちらともいえない	5

4-2 選んだ理由をお聞かせください。

- ・報酬をもらえるほど、自分の日本語の技量がないが、ある方はある。
- ・リーダーには必要。
- ・私自身の力がないので、もらう自信はない。まだこちら楽しんでる程度だから。
- ・会を長く続けるには教える側に責任を負うし、モチベーションを保つには報酬はあっていいと思う。
- ・やる気ができる。責任感を持つようになると思う。
- ・ボランティアとして自分の都合のつく時間にいっしょに勉強しているので。
- ・自分は報酬を頂くに値しないが、全部一律でいいのかどうか。ただその場合、どこから出すのか、また問題では？
- ・定期的にいかななくてはならないし、勉強もしなくてはならない。

- ・もらうことで責任も出てくる。意欲がでる。
- ・高額でなくてもよいが。(有償ボランティア)
- ・それぞれのクラスのリーダーにはあったらいいし、出すべきと思う。
- ・現在私個人としては手伝い、勉強のつもりなので(なくても)。
- ・もともとボランティアは無報酬が建前だが有償ボランティアもありか。ただ、有償になると無資格だと抵抗がある。
- ・お車代程度がいいと思う。←ボランティアのレベルを超える可能性がある。
- ・ボランティアだから(どちらともいえない)
- ・基本的に自分たちが自主的に行っていることなので無償であって当然と思うが、弁当代(飲み物代)程度はあってもいいと思う。
- ・自分自身もボランティアとして参加することによって、学ぶものがあると感じるので。
- ・駒ヶ根市(行政)として対応すべき課題であり、通年で毎週という大変な事業である。ボランティアでの対応の域を超えている面がある。
- ・お金を取らないと生徒が真剣に来ない
- ・ボランティアとはいえ、誰にとっても時間というものはとても貴重なものなので。

5-2 グループレッスンより個人レッスンのほうがいいですか。

グループ	12
マンツーマン	5

- ・人による
- ・両方取り入れていったらいいと思う。
- ・両方の必要を感じますが……。
- ・状況に応じて両方行うのがよいのでは。

5-2 教えることに不安やストレスを感じていますか。

感じている	4
感じていない	6
なんとなく感じている	5

- ・ほとんど(感じていない)

5-3 その不安やストレスについて具体的に教えてください。

- ・日本語をまだ理解していないし、教え方も分からない。
- ・真剣さが足りない(自分自身)。他に追われているものがある。
- ・これでいいのかなとか、このやり方で学習者は理解できるかなと不安に思う時がある。
- ・ちゃんと教えられるか、相手が分かっているかという不安。
- ・今のところ不安やストレスはないが、責任は感じている。日本語を教えるのみならず、いち日本人として!(その時々
の小さな不安はあります)

- ・まだ自分自身教えるというほど力がついていないので。
- ・いきなりボランティアに参加するのではなく、短期でもいいのである程度の知識（教授法など）を身につけたい。

5-4 日本語教室に参加してみて、どんな感想を持ちましたか。（複数回答可）

難しい	6
つまらない	0
負担がかかる	3
興味がわいた	5
もっと勉強したい	11
中心になりたい	1
資格を取りたい	2
楽しい	1

・わかってもらえるように教えるのが（難しい）

- ・ボランティアミーティング参加後
- ・気持ちはありますがまだそれだけの知識、能力がない。
- ・興味はあるが、今のところ諸事情から無理かと。

6-1 グループ内の協力分担体制がうまくいっていると感じますか。

感じる	7
感じない	1
どちらともいえない	9

・できる方向へはむかっている気がする。

* どういう点でそう感じますか。具体的に教えてください。

- ・教え方がわからないので、中心者についている。中心者の教え方がうまいので感心するばかり。
- ・まだ90分のうち、半分以上、中心となる人に頼っているから。
- ・協力や分担は事前準備が必要だが、連絡や相談が十分にできないから。
- ・先生を中心にボランティアの人たちができる範囲で協力している。
- ・協力はされています。常に一定に進めていけないところに分担?? 難しさを感じるが、今後徐々に進めていけるのでは。
- ・リーダーの資質、能力がすぐれていて、むしろこちらが教えてもらっている思い。（感じる）
- ・教室そのものの雰囲気はとても楽しく明るいので。
- ・役割分担ができています。

6-2 初級1. 2. 3のグループ間の連携は取れていると感じますか。

感じる	5
感じない	1
どちらともいえない	11

* どういう点でそう感じますか。具体的に教えてください。

- ・ 中心の先生が親切丁寧。
- ・ まだ全体が見えていないから。
- ・ 各々の個性を生かした進め方になっているとは思いますが、ふと他グループで教えているボランティアの方を見ると、自分はあるふう理解して教えることができるのかと不安になることがある。
- ・ 進級も行われているので。
- ・ 他のグループの様子が分からない。話す時間がないからな～。
- ・ 他のグループで勉強している内容については知る方法がないので分からない。(どちらとも)
- ・ 進級していった人たちとの交流。一緒に学習もいいと思う。→会話、文字等で。

6-3 他のグループに参加してみたいと思いますか。

参加してみたい	5
ちょっと見学してみたい	7
今のままでいい	4

- ・ が、自分に余裕がないかな。

7 日本語教室で取り組んでみたい活動はありますか。

ある	11
ない	2

- ・ 今はそこまで考えられない。

* 具体的に教えてください。

- ・ 教室の外に出てみるのはどうでしょう？
- ・ 和食を一緒に作りたい(こてこての日本料理ではなく、日常食卓にあがりそうなもの)
- ・ 「～の仕方」とかで順を追って説明する(体験しながら) ex. おじぎの仕方、お茶のいれ方、～の作り方など文化を取り入れながらできたらいいなあと思う。
- ・ 雑談ではない自由討論みたいな、テーマを決めて話し合うようなこと。じっくりいろいろ話し合ってみたい。
- ・ 以前「外国の方とお茶を飲みながら語る会」のようなことがありましたが、日本語のみならず、様々なことを語る機会が定期的にもてれば、他国の文化も少しはわかり、彼らの日常の不安や期待などにもふれられるのでは？
- ・ 日本の行事にちなんだ授業・イベント等。
- ・ 生徒たちと一緒に楽しみ会などあったらよいと思う。ゲーム、歌、紙芝居、民族の踊りなど。
- ・ いろいろと考えられるが、今は教えること(がいちばんだ)
- ・ 日本語ボランティア養成講座
- ・ 日本文化を知ってもらうための行事(お茶会、料理会、邦楽コンサート、華道、パソコン教室 etc.) 親子参加の行事なども。

- ・交流会や一品持ち寄りパーティなど、他グループの生徒さんとも交流したりする機会があれば思う。
- ・交流会（ボランティア、学習者合わせて）
- ・ソシオドラマのような、具体的な日本語を使った劇を演じてみたら。
- ・実践編で買い物などなど。
- ・駒ヶ根市内の名所めぐり

8 勉強会で取り上げたいことはどんなことですか。具体的に教えてください。

- ・たまには、グループ一緒に楽しみなことができたらいと思う。
- ・どんな教材があって、どう使うかを勉強したい。
- ・よく聞かれること（日本語のことだけじゃなく）や、答えを知識として共有する。
- ・話し方、教え方のコツを教えてください。
- ・場面別の文型
- ・ゲーム（言語上の）
- ・修学旅行（もちろん近場で……市内見学等）
- ・スピーチコンテスト（意見発表会）
- ・文字を書くこと、ひらがな、かたかな。最小限の漢字など、苦手を重点において教えてあげられたらと思う。
- ・日本語の発音、アクセントは難しいので、会話の中で習得していけるよう会話を増やしていったらと思う。
- ・教え方の基本
- ・グループごとの教え方の細かいところ（教材の使い方など）を打ち合わせたい。
- ・上記（ソシオドラマ～）
- ・交流会

9 日本語教室の全体的な感想をお聞かせください。

- ・一部の人に負担がかかっているなあと思います。
- ・教室が始まってようやく半年がすぎますが、手探りながら、よくまとまってきたと感じています。
- ・一人ひとりに感謝したい。ありがとうございます。
- ・もっと多くの人に知ってもらい、来てもらいたい。（外国の人。日本語を勉強したい人。）
- ・「やれるかも」「やってみたい」と思ってきてくれるボランティアの気持ちとやる気を大切にしたい。大切にしてほしい。
- ・どのグループも和気あいあいとして勉強しているようでたいへん良いと思います。

- ・曜日によって受講生にばらつきがあるのが少し難点ですが、この先長く教室が続くことを希望します。
- ・ボランティアが増えるといいと思う。
- ・時々くる学習者にも対応できるカリキュラムを考えたい。
- ・理念、立ち上げは素晴らしいと思い、私も参加しましたが、当初教室で学んだ（教える側の講座）人も、また日本語教室に来ていた外国籍の方が多く来なくなっているその原因はなんだったのかなと考え、結論はまだみつきませんが、教室のこれからの方向について、考慮もいいのではと思います。
- ・いろんな人と知り合えてたのしい。
- ・ボランティアスタッフの方々の負担を減らす方策を考えたいと思います。
- ・お互いに話し合うことがとっても大事だと思います。
- ・日本語教室運営はこの地域で外国人と共生するためには必要不可欠である。他教室との連携や教える側の知識の底上げや統一も必要だと思う。しかし、なによりもこの活動を通じて交流を持ち、外国人の方たちが楽しく安心して暮らしていけるようサポートすることが大事であると考え。
- ・みな、楽しそうに勉強しているのがまわりで見ているととても良いと思います。

☆ ^{にほん}日本にどのぐらい^す住んでいますか。 _____

☆ ^{こまがね}駒ヶ根にどのぐらい^す住んでいますか。 _____

☆ ^{ぼご}母語は何語^{なにご}ですか。 _____

☆ ^{ぼご}母語のほかに何語を話しますか。 _____

☆ ^{せいべつ}性別：^{おとこ}男 ・ ^{おんな}女

☆ ^{ねんれい}年齢：[・]～19才・²⁰～²⁹才・³⁰～³⁹才・⁴⁰～⁴⁹才・⁵⁰～⁵⁹才・⁶⁰才～

☆ ^{こんご}今後の^{たいざい}滞在^{よてい}予定^{ねん}年数：[・]1～3年 ・³～⁵年 ・⁵～10年 ・¹⁰年以上 ・^{えいじゅう}永住

☆ ^{しごと}仕事：^{がくせい}・学生 ・^{けんしゅうせい}・研修生 ・^{せんぎょうしゆふ}・専業主婦 ・^{せいしゃいん}・正社員 ・^{ぱーとしゃいん}・パート社員 ・^{むしよく}・無職

^{ちきゅうじん}地球人ネットワーク in ^{しゅさい}こまがね^{にほんごきょうしつ}主催の日本語教室が今年5月からはじまりました。

^{しゅうかん}1週間に^{かい}2回 ^{かようび}火曜日の^{ごご}午後^{じはん}1時半から^じ3時までと^{どようび}土曜日の^{ごぜん}午前^じ10時から^{じぶん}11時30分までです。

^{ばしょ}場所は^{かい}アルパの^{こまがねえきまえ}3階（^{かい}駒ヶ根駅前^{かい}1階はスーパーマルトシ）です。

^{りょうきん}料金は^{かい}1回 ¥200 です。

^{べんきょう}3つのグループでレベルに分かれて勉強しています。

^{しょきゅう}初級1は^か1～7課、^{しょきゅう}初級2は^か8～15課、^{しょきゅう}初級3は^か16～20課を勉強します。

テキストは「^{にほんご}みんなの日本語I」を^{つか}使っています。

^{さんか}いつからでも参加できます。

1-1. この日本語教室にほんごきょうしつを知っていますか。

- ・知っている
- ・知らない

1-2. 日本語を勉強べんきょうしたいですか。

- ・勉強べんきょうしたい
- ・勉強べんきょうしたいが、時間がない
- ・勉強べんきょうしたくない

1-3. この日本語教室にほんごきょうしつができるまえ、日本語を勉強べんきょうしたことがありますか。

- ・ある
- ・ない

1-4. 1-3で「ある」とこたえた人ひとに聞きます。どのように日本語を勉強べんきょうしましたか。

- ・ほかの日本語教室にほんごきょうしつで勉強べんきょうした(教室きょうしつの名前：)

- ・家族や友達かぞくともだちが教えてくれた

- ・一人ひとりで本つかを使って勉強べんきょうした

- ・テレビ・ラジオ日本語講座にほんごこうざで勉強べんきょうした

2-1. 今の日本語教室いまにほんごきょうしつは、来やすい曜日きようびと時間じかんですか。

- ・どちらもいい
- ・どちらもある
- ・どちらでもない

- ・火曜日かようびはいいが、土曜日どようびはわるい
- ・土曜日どようびはいいが、火曜日かようびはわるい

2-2. どの曜日と時間が便利ですか。✓ をつけてください。

じかん 時間	ようび 曜日	にち 日	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ど 土
10:00~11:30								
13:30~15:00								
15:00~16:30								
17:00~18:30								
19:00~20:30								
19:30~21:00								

2-3. アルパの場所はべんりですか。

・はい ・いいえ (理由を教えてください)

2-4. 1回 ¥200 の料金は どうですか。

・高い ・安い ・ちょうどいい ・もっと高くてもいい ・もっと安いほうがいい

3-1. 上級クラスがほしいですか。 (例: みんなの日本語 I 20課以上を

勉強するクラス、日本語能力検定試験 1 級、2 級程度のクラス)

うえ
上のクラスがほしい いまのままでいい どちらでもいい わからない

3-2. グループレッスンよりマンツーマンレッスンのほうがいいですか。

グループレッスンのほうがいい

マンツーマンレッスンのほうがいい

3-3. ^{いま}今の日本語教室に^{いけん}意見や^{かんが}考え、^い言いたいことがありますか。

- ・ある
- ・ない

ある人は、^{ひと}人を、^{おし}教えてください。

例：^{れい}レベルがあっていない。 ^{りょうきん}料金が^{たか}高い。 ^{せつめい}せつめいがわからない。

4. ^{にほんごきょうしつ}日本語教室で^{なに}何をしたいですか。

・^{にほんご}日本語の^{ぶんぽう}文法を^{べんきょう}勉強したい

・^{にほん}日本の^{せいかつ}生活を^し知りたい

・^{きょうしつ}教室で、^{ともだち}友達をつくりたい。/^{くに}おなじ国の^{ひと}人や、^す近くに^{がいくじん}住んでいる外国人と^{はな}話したい。

・^{くに}おなじ国の^{ひと}人と^{じょうほう}情報を^{こうかん}交換したい

・いつも^き聞くことができない^{にほん}日本のことを、^{にほんごきょうしつ}日本語教室で^き聞きたい

・^たその他

5. ^{いま}今、^{きょうしつ}教室では^{にほんご}日本語で^{せつめい}説明しています。^{ぼご}母語や、^{あなたがわかる言葉}あなたがわかる言葉で^{せつめい}説明を^き聞きたいですか。

- ・母語（分かる言葉）がいい
- ・^{にほんご}日本語がいい
- ・どちらでもいい

6-1. ^{にほんごのうりよくけんていしけん}日本語能力検定試験（^{ねん}1年に^{かい}1回 ^{りょうきん}料金 ¥5500、^{きゅう}1～4級）があることを^し知っていますか。

- ・^し知っている
- ・^し知らない
- ・^き聞いたことはあるが、よく^し知らない

6-2. ^{にほんごのうりよくしけん}日本語能力試験を^う受けたいと^{おも}思いますか。

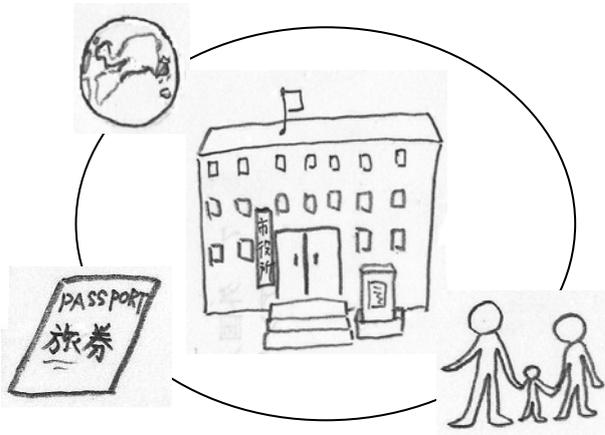
- ・^{らいねんう}来年受けたい
- ・^ういつか受けたい

- ・わからない
- ・^{きょうみがない}きょうみがない

7. もし、あなたの^{いえ}家の^{ちか}近くや、あなたの^{かいしゃ}会社や^{こうじょう}工場に^{にほんごきょうしつ}日本語教室があつたら、
あなたは^{さんか}参加したいですか。

- ・^{さんか}参加したい
- ・^{さんか}参加しない
- ・わからない

8. 日本語が^{にほんご}できないことで、^{こま}困っていることはどんなことですか。をつけてください。



^{しやくしよ}
<市役所>

^{しやくしよ つうちぶん よ}市役所の通知文を読むとき

^{しやくしよ しんせい}市役所のいろいろな申請をするとき

^たその他

[]

^{ぎんこう ゆうびんきょく}
<銀行/郵便局>

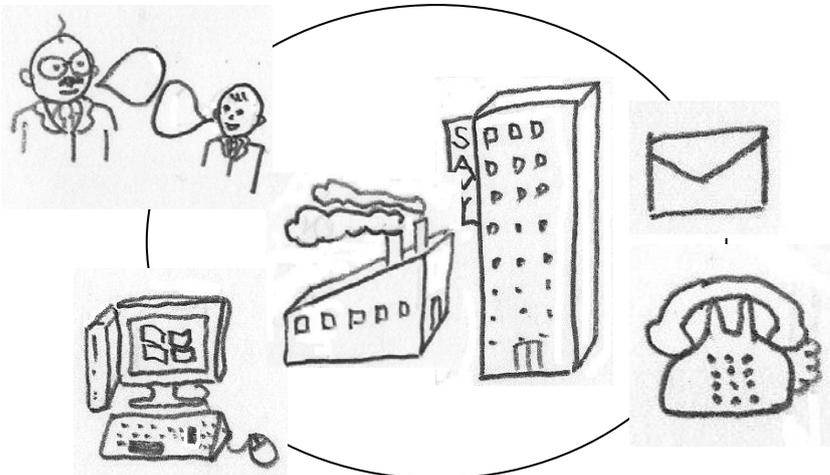
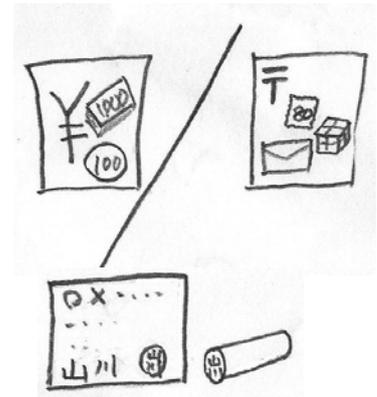
^{ぎんこう まどぐち こうざ ひら あず ひきだ}銀行の窓口で口座を開く/預け入れ・引出しを銀行員

^{たの そうきん}に頼む/送金するとき

^{ゆうびんきょく てがみ にもつ だ}郵便局で手紙や荷物を出すとき

^たその他

[]



^{しごと}
<仕事>

^{かいしゃ でんわ}会社で電話をかけるとき、^う受けるとき

パソコンでメールをするとき

^{かいしゃ ひと はな}会社の人と話すとき

^たその他

[]

かてい
 <家庭>

うち でんわ
 家で電話をかけるとき、受けるとき

しんぶん こうこく よ
 新聞や広告を読むとき

がっこう つうち よ
 学校の通知を読むとき

こども がっこう ようす うち ようす
 子供の学校での様子や、家での様子を

がっこう せんせい はな
 学校の先生と話すとき

がっこうぎょうじ
 どんな学校行事があるかわからない

こども えほん よ はなし
 子供に絵本を読んであげたいが、話がわからない、読むことができない

かぞく はな
 家族と話すとき、どうやって話すかわからない

わ かた しかた だ かた
 ゴミの分け方・リサイクルの仕方・ゴミの出し方

□その他 ()



びょういん
 <病院>

びょういん うけつけ しんさつ う
 病院で受付をするときや、診察を受けるとき

やっきょく くすり
 薬局で薬をもらうとき

よぼうちゅうしゃ う
 予防注射を受けるとき

かいご せつめい う
 介護サービスの説明を受けるときや、ソーシャル

はな
 ワーカーと話すとき

□その他^た

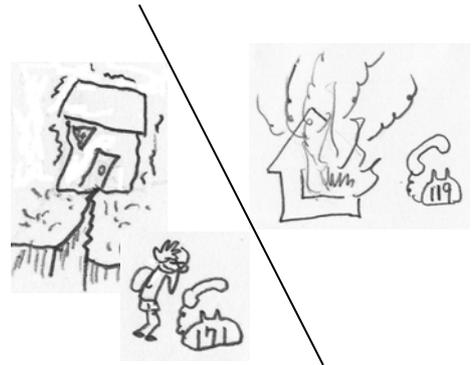
ちいき
<地域>

じしん かじ
□地震や火事^たのとき、どうしたらいいかわからない

あんぜん ばしょ
(安全な場所はどこ? どうやってにげる?)

きんきゅう ほうそう かじ まいご
□緊急の放送(火事や迷子)がわからない

□その他^た



<ほかに、なんでも書いてください>^か

ありがとうございました。

- ☆ 您来日本的年数： _____
- ☆ 您在驹根市居住的年数： _____
- ☆ 您的母语： _____
- ☆ 除母语外您还会使用什么语言： _____
- ☆ 您的性别： 男 · 女
- ☆ 您的年龄： · ~19 · 20~29 · 30~39 · 40~49 · 50~59 · 60~
- ☆ 您今后预定在日本的年数： · 1~3年 · 3~5年 · 5~10年 · 10年以上 · 永住
- ☆ 您的职业： · 学生 · 研修生 · 全职主妇 · 正社員 · 临时工 · 没有任何职业

在今年5月，由地球人联络网 in 驹根 主办的日语学习班开始了运作。

上课时间： 每周2次 周二班：每周二下午1点半到3点 周六班：每周六上午10点到11点半

上课地点： 驹根车站 站前大楼 阿鲁巴3楼（驹根车站 站前大楼阿鲁巴的1楼是超市マルトシ）

费用： 一次¥200

按日语能力，分三个小班授课，使用的教科书是「みんなの日本語Ⅰ」（《大家的日语》）。

初级1班上1~7课，初级2班上8~15课，初级3班上16~20课。

您任何时间报名参加，都可以立即入班上课学习。

1-1. 您知道这个日语学习班吗？

- 知道 · 不知道

1-2. 您想学习日语吗？

- 想学 · 想学，但是没有时间 · 不用学了

1-3. 这个日语学习班成立之前，您学习过日语吗？

- 学过 · 没学过

1-4. 在问题1-3回答“学过”的人请回答：您是怎样学日语的？

- 在其他的日语学习班学过（学习班名： _____ ） · 家人或朋友教我了
- 一个人独自看课本学了 · 看电视 · 听广播的日本語講座学了

2-1. 现行的周二班和周六班, 这两个上课时间, 对您来说是比较方便的上课时间吗?

- 这两个时间都可以去上课
- 这两个时间都不合适我
- 无所谓
- 周二班可以去, 但是周六班去不了
- 周六班可以去, 但是周二班去不了

2-2. 请告知, 哪个时间带比较适合于您? 请在您合适的时间带上打 ✓

时间带	周日	周一	周二	周三	周四	周五	周六
10:00~11:30							
13:30~15:00							
15:00~16:30							
17:00~18:30							
19:00~20:30							
19:30~21:00							

2-3. 上课地点选在阿鲁巴, 您觉得怎样?

- 不错
- 不好 请告诉您的理由:

2-4. 费用一次¥200, 您觉得怎样?

- 太贵了
- 太便宜了
- 正合适
- 再贵一点也可以
- 再便宜一点更好

3-1. 您希望有上级班吗?

比如: 开办「みんなの日本語 I」(《大家的日语 I》) 第 20 课以后的授课班,
日本語能力検定試験 1 级, 2 级的预考班, 等等。

- 希望有再上一级的授课
- 现在的分班正合适
- 都可以
- 不懂

3-2. 比起小组学习, 您更喜欢个人教学吗?

- 我更喜欢小组学习
- 我更喜欢个人教学

3-3. 您对现在的日语学习班有什么意见吗？

- 有，请听！
- 没意见

请具体告诉我们您的意见和建议。

比如：授课内容与日语水平不符，费用太贵了，听不懂老师讲了些什么，等等。

4. 您希望在日语学习班里学到些什么？

- 学到日语的语法
- 了解日本的生活事情
- 认识其他从中国来的朋友，结识在驹根居住的外国人
- 与同是从中国来的朋友交换资讯，信息
- 可以向老师咨询一些平常不容易了解得到的日本生活常识等
- 另外

()

5. 现在，学习班使用日语教学。您希望今后有用中文来解释日语语法及习惯用法吗？

- 希望有中文解释
- 没有中文解释也可以
- 都可以

6-1. 日本語能力検定試験（一年一次，考试费用¥5500，1~4级），您听说过吗？

- 我知道这个考试
- 我不知道有这个考试
- 听说过，但是不太了解

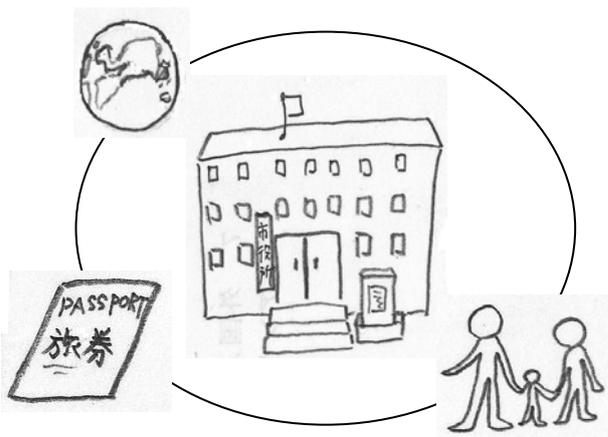
6-2. 您想参加 日本語能力試験 吗？

- 今年或明年就想参加报考
- 很想哪年能去考考试试
- 不知道
- 不感兴趣

7. 若是，您居住的地区的集会所，或是您的单位里有日语学习班，您会去参加吗？

- 我会参加
- 我不会参加
- 不知道

8. 就因为不懂日语, 您在哪些方面遇到了困难? 请打



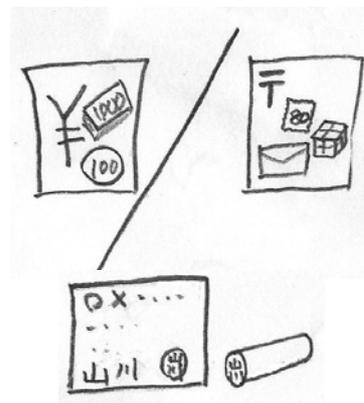
<市政府>

- 读市政府来的各种行政通知文
- 在市政府办理各种手续时
- 其他

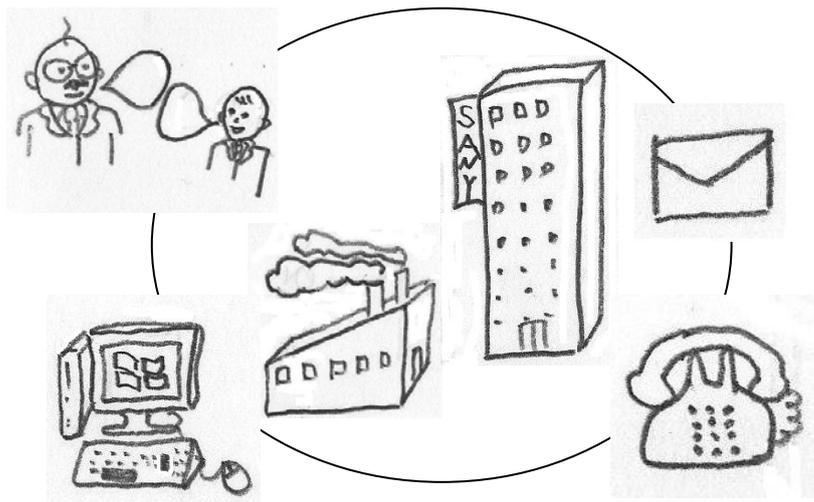
[]

<银行 / 邮电局>

- 在银行窗口办理帐号开通, 存款, 取款和汇款时
- 在邮局取邮包时
- 其他



[]



<在单位>

- 在公司需接电话, 打电话时
- 用电脑发送电子邮件时
- 与上司, 同事说话交流时
- 其他

[]

<家庭生活中>

- 在家打电话，接电话时
- 读报纸，广告时
- 读孩子学校来的通知时
- 与孩子的老师沟通孩子学校的情况，在家的情况的时候
- 想知道，学校一般会有些什么活动
- 想给孩子用日语念图画书
- 想与家里人多沟通，但是不知道该怎么说
- 想知道，倒垃圾的方法，资源回收的方法
- 其他



[]

<医疗>

- 到医院看病时的挂号，就诊时
- 到药房取药时
- 打预防针时
- 接受看护服务说明与社会工作人员沟通时
- 其他



[]

<社区生活>

- 不懂遇到灾害时的避难方法和信息传递方法
- 听不懂火灾，搜索等紧急广播
- 其他



[]

<除上面所记以外，您还遇到过什么困难吗？>

本调查表是由 驹根市社会福祉协议会 地球人联络网 in 驹根 文责制作
中文版翻译 董永洁，欢迎批评指教！

感谢您的配合，协作和支持！有你我们更充实，大家的生活更美好！

• No outro curso de japonês (nome do curso : _____) • A família ou amigos

• Sozinho em casa com texto • Curso de japonês no TV ou Radio

2 – 1 . Os horários do nosso curso estão bom?

• Bom • Ruim • Regular

• Bom na terça-feira,mas ruim no sabado • Bom no sabado, mas ruim na terça-feira

2 – 2 . Qual dia da semana e horário que pode fazer? Marca com ✓

Dia da semana Horário	domingo	Segunda -feira	terça- feira	quarta- feira.	quinta- feira	sexta- feira	sabado
10 : 00~11 : 30							
13 : 30~15 : 00							
15 : 00~16 : 30							
17 : 00~18 : 30							
19 : 00~20 : 30							
19 : 30~21 : 00							

2 – 3 . O lugar do curso (ALUPA)

• Bom • Ruim (por que...)

2 – 4 . O preço (200 ienes por vez)

• Caro • Barato • Está bom • Pode ser mais caro • Melhor mais barato

3 – 1 . Quer aprender curso superior?

• Quero curso superior • Não precisa • Pode ter • Não tem ideia

3 – 2. Qual melhor?

- O curso em grupo
- O curso individuais

3 – 3. Tem descontentamento em nosso curso?

- Sim
- Não

Sim, como...

exemplo : acho que estou aprendendo no grupo difícil(fácil) demais, caro, difícil entender as professoras falam ...

4. O que esperar no curso de língua japonesa?

- Pode aprender a gramática de japonês
- Pode conhecer a circunstância de vida no japonês
- Pode conhecer os estrangeiros que moram na área
- Pode trocar informações e ouvir notícia de seu país com amigos
- Pode saber o senso comum no japonês
- Outros

5. Quer aprender o japonês em sua língua?

- Sim
- Não
- Tanto faz

6 – 1. Sabe que existe a prova de capacidade de língua japonesa?

(uma vez por ano, taxa 5500 ienes, 1 grau até 4 grau)

- Sei
- Não sei
- Já ouvi, mas não sei detalhe

6 – 2. Tem vontade de fazer a prova de japonês?

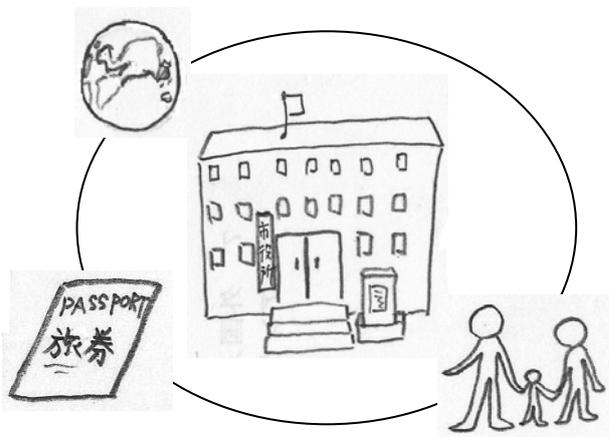
- Quero fazer nesse ano ou ano que vem
- Quero fazer um dia

- Não sei
- Não tem interesse

7. Se tivesse um curso de japonês perto de onde você mora ou trabalha, gostaria de fazer?

- Sim
- Não
- Não sei

8. Tem algumas dificuldades no dia-dia por causa da língua? Marca com



< Prefeitura >

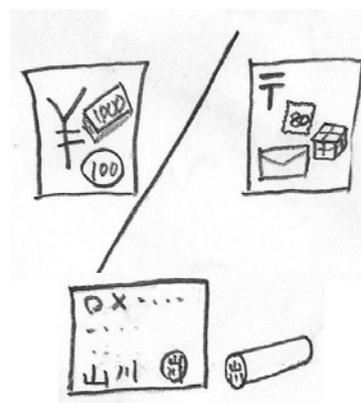
- Ler correspondencias da prefeitura
- Solicitar documentos na prefeitura
- Outros

()

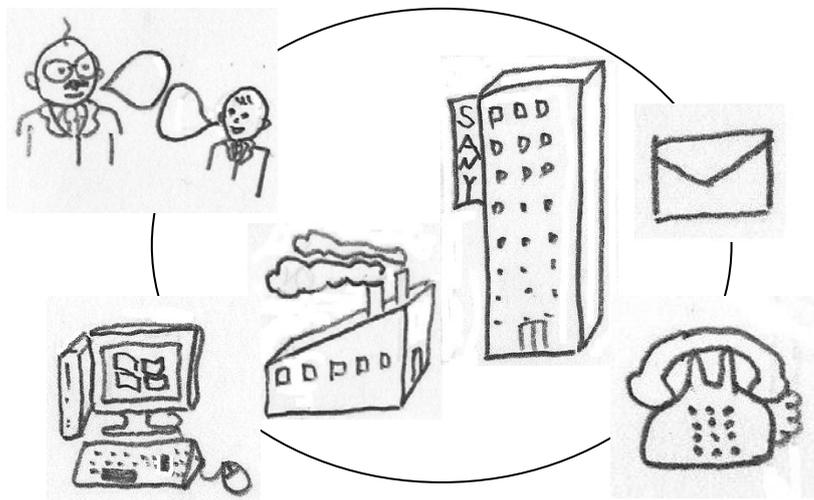
< Banco / Correio >

- Abrir a conta / Depositar ou sacar / mandar dinheiro etc...
- Mandar correspondencia
- Outros

()



()



< Trabalho >

- Atender ou ligar o telefone no serviço
- Mandar e-mail
- Conversar com superior ou colega
- Outros

()

Outros

< Se tiver alguma solicitação, escreva abaixo >

Muito obrigado.

- ☆ How many years have you lived in Japan? _____
- ☆ How many years have you lived in Komagane? _____
- ☆ What is your native language? _____
- ☆ What other languages do you speak? _____
- ☆ Gender: Male Female
- ☆ Age : • ~19 • 20~29 • 30~39 • 40~49 • 50~59 • 60~
- ☆ How long are you planning to stay in Japan :
 - 1~3 years • 3~5 years • 5~10years • 10 or more • Permanently
- ☆ Occupation : • Student • Trainee • Housewife • Full time employee
 - Part time employee • No job

Japanese classes started in May of this year and are organized by a volunteer group from Chikyujin Network in Komagane.

Classes are twice a week: Tuesdays 1:30pm-3:00pm and Saturdays from 10:00am-11:30am on the third floor of the Alpa Building in front of the Komagane Station. This is the same building as the Marutoshi grocery store.

Classes are divided into three groups all are using “Minna no Nihongo I”. First level students are studying chapters 1-7; second level 8-15; third level 16-20

You can join the class anytime.

1 – 1 . Did you know about this Japanese class?

- Yes • No

1 – 2 . Do you want to study Japanese?

- Yes • Yes, but no time • No

1 – 3 . Have you ever studied Japanese before?

- Yes • No

1 – 4 . If you answered yes to question 1-3 then please answer the following questions.

• Where did you attend class_____ • Did you learn at home or from a friend

• Self study with text book • Did you learn from TV or radio programs

2 – 1 . Are the current class times convenient for you?

• Both times are good • Neither time is good

• Tuesday is good Saturday is not • Saturday is good Tuesday is not

• None of the above" (Some Tuesdays are OK, some Saturdays are OK, but not always)

2 – 2 . Please check which of the following is the best time for you.

Day \ Time	Sun.	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
10 : 00~11 : 30							
13 : 30~15 : 00							
15 : 00~16 : 30							
17 : 00~18 : 30							
19 : 00~20 : 30							
19 : 30~21 : 00							

2 – 3 . Is the Alpa location convenient for you

• Yes • No (If not please give a reason :)

2 – 4 . Is the fee of 200 yen per class reasonable?

• Expensive • Cheap • Just right • More expensive is OK • Cheaper is better

3 – 1 . Do you want to take an advanced class?

Example: A class that teaches above the level of “Minna no Nihongo” Chapter 20 or a Japanese proficiency test level 1 or 2 class.

• I want the class like in the above example • The current class is fine

• Either class is fine • I do not know

3 – 2 . Do you prefer private or group lessons?

• Group lessons • Private lessons

3 – 3 . Are you satisfied with the current Japanese class?

• Yes • No

If you are not satisfied then please explain why.

Example : Level does not suit me. Fee is too high. I do not understand the explanations.

4 . What do you expect from Japanese classes?

- to learn Japanese grammar
- to learn more about Japanese life
- to be friends with other foreigners
- exchange information with people from same country
- to learn to ask Japanese about customs
- other reasons

5 . Currently the class is taught in Japanese. Would you like the class to be taught in your native language?

• Yes • No • Neither

6 – 1 . Do you know about the Japanese Language Proficiency Exam (once a year for 5,500¥ levels 1-4)

• Yes • No • I have heard about it but do not know much

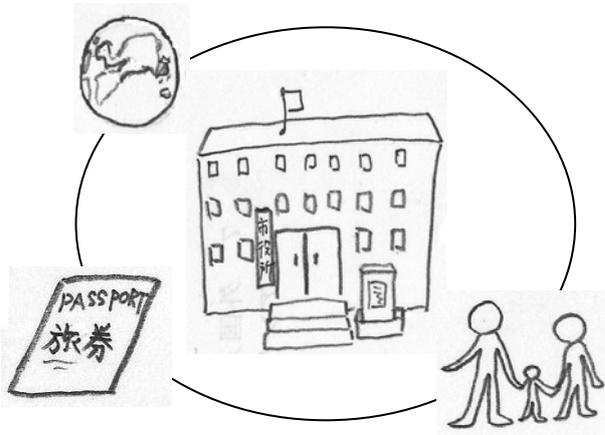
6 – 2 . Do you want to take this exam?

- This year or next year
- Someday
- Don't know
- No interest

7 . Are you interested in taking a Japanese class if there is one in your neighborhood or at your place of work?

- Yes
- No
- Don't know

8. Please check the following items where you have problems not being able to understand Japanese.



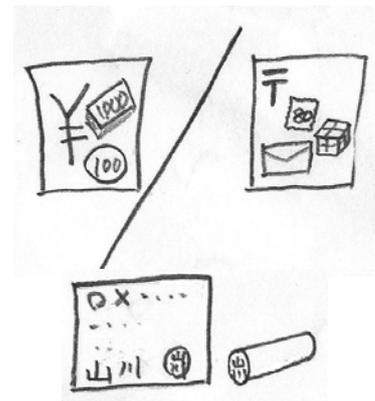
< City Hall >

- reading documents or letters from city hall
- requesting document from city hall
- other

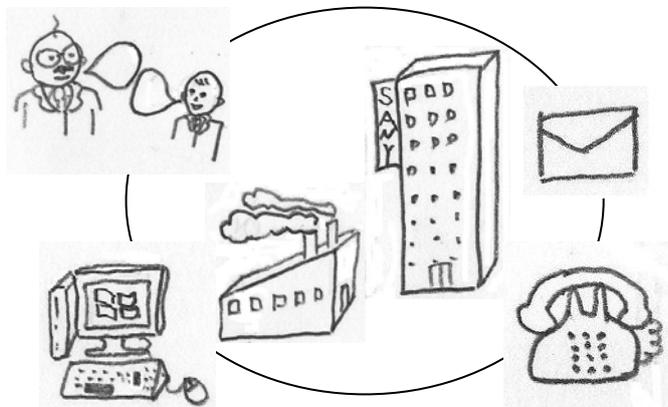
[]

< Bank / Post Office >

- opening an account / depositing or withdrawing money / sending money
- sending parcels
- other



[]



< Work >

- Making and receiving phone calls
- Writing emails
- talking with coworkers or superiors
- Other

[]

< If you have any comments, please feel free to write them in below. >

Thank you very much.

にほんごきょうしつ
日本語教室のアンケート（ボランティア用）

1. 今の開講時間は火曜日の午後1時30分から3時までと、土曜日の10時から11時30分までですが、あなたにとって来やすい曜日と時間ですか。

- ・どちらもいい
- ・どちらもわるい
- ・どちらでもない

- ・火曜日はいいが、土曜日はわるい
- ・土曜日はいいが、火曜日はわるい

2-1. 1週間に2回教室きょうしつがあるのは多いですか。

- ・おおい
- ・少ない
- ・ちょうどよい

2-2. 選んだ理由りゆうを教おしえてください

例：参加さんかしなければならぬプレッシャーを感じるから／火曜日は学がく習しゅう者がほとんど来ないから

3-1. 新規で夕方または夜の時間に教室きょうしつを開くとしたら、あなたは参加さんかできますか。

- ・参加さんかできる
- ・参加さんかできない
- ・曜日によっては参加さんかできる

- ・時間の都合がつけば、人手が足りないときに手伝う程度なら参加さんかできる

3-2. 新規で夕方又は夜の時間に教室きょうしつを開くとしたら、いつがいいですか。✓ をつけてください。

曜日： 日 月 火 水 木 金 土

時間： 15:00～16:30 17:00～18:30
 19:00～20:30 19:30～21:00

4-1. 報酬についてご意見をお聞きします。

- ・報酬はもらうべきだ ・報酬はもらうべきではない
- ・報酬はあったらいいと思う ・報酬はなくてもいいと思う ・どちらともいえな

4-2. 選んだ理由をお聞かせください。

5-1. グループレッスンより個人レッスンのほうがいいですか。

- ・グループレッスンのほうがいい ・マンツーマンレッスンのほうがいい

5-2. 教えることに不安やストレスを感じていますか。

- ・不安やストレスを感じている ・感じていない ・なんとなく感じている

5-3. その不安やストレスについて具体的に教えてください。

5-4. 日本語教室に参加してみて、将来グループで自分が中心となって教えたいとか、資格

8. 勉強^{べんきょう}会^{かい}で取り上げたいことはどんなことですか。具体的に^{おし}教えてください。

9. 日本語^{にほんご}教室^{きょうしつ} 全体的な感想^{かんさう}をお聞かせください。